

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 約10年間(2011年9月22日~2021年9月7日)
運用方針	約8年3カ月間(2013年5月31日~2021年9月7日) 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」(以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」といたします。)の受益証券 (円建) ②ダイウ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	日本円・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズで、通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ないません。
	豪ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/豪ドル買いの為替ヘッジを行ないません。
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替ヘッジを行ないません。
組入制限	米ドル・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨セレクト・コース (毎月分配型) ①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)とダイウ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。③クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り/選定通貨買いの為替ヘッジを行ないません。
分配方針	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。分配対象額は、繰上控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標とします。基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)

－トリプルリターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)  
豪ドル・コース (毎月分配型)  
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)  
米ドル・コース (毎月分配型)  
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第60期 (決算日 2016年10月7日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第61期 (決算日 2016年11月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第62期 (決算日 2016年12月7日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第63期 (決算日 2017年1月10日)
	第64期 (決算日 2017年2月7日)
	第65期 (決算日 2017年3月7日)
	第60期 (決算日 2016年10月7日)
	第41期 (決算日 2016年11月7日)
	第42期 (決算日 2016年12月7日)
	第43期 (決算日 2017年1月10日)
	第44期 (決算日 2017年2月7日)
	第45期 (決算日 2017年3月7日)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-」は、さる3月7日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <3834>  
お問い合わせ先 (コールセンター) <3835>  
TEL 0120-106212 <3836>  
(営業日の9:00~17:00) <3837>  
<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
36期末(2014年10月7日)	10,381	90	△ 3.9	16,840	△ 2.1	0.0	98.9	2,891
37期末(2014年11月7日)	10,378	90	0.8	17,409	3.4	0.0	98.0	2,906
38期末(2014年12月8日)	10,307	90	0.2	17,787	2.2	0.0	98.0	2,578
39期末(2015年1月7日)	9,825	90	△ 3.8	17,164	△ 3.5	0.0	99.0	2,553
40期末(2015年2月9日)	9,936	90	2.0	17,617	2.6	0.0	99.3	2,477
41期末(2015年3月9日)	9,788	90	△ 0.6	17,752	0.8	0.0	98.8	2,408
42期末(2015年4月7日)	9,582	90	△ 1.2	17,832	0.5	0.0	98.7	2,399
43期末(2015年5月7日)	9,870	90	3.9	17,828	△ 0.0	0.0	99.1	2,421
44期末(2015年6月8日)	9,645	90	△ 1.4	17,937	0.6	0.0	98.9	2,204
45期末(2015年7月7日)	9,175	90	△ 3.9	17,731	△ 1.2	0.0	98.9	2,060
46期末(2015年8月7日)	8,870	90	△ 2.3	17,858	0.7	0.0	99.4	2,002
47期末(2015年9月7日)	8,140	90	△ 7.2	16,466	△ 7.8	0.0	96.7	1,852
48期末(2015年10月7日)	8,306	90	3.1	16,969	3.1	0.0	98.8	1,925
49期末(2015年11月9日)	8,525	90	3.7	17,992	6.0	0.0	98.8	1,948
50期末(2015年12月7日)	8,429	90	△ 0.1	17,927	△ 0.4	0.0	98.9	1,976
51期末(2016年1月7日)	7,941	90	△ 4.7	17,058	△ 4.8	0.0	98.7	1,937
52期末(2016年2月8日)	7,472	90	△ 4.8	16,113	△ 5.5	0.0	99.2	1,745
53期末(2016年3月7日)	7,844	90	6.2	17,141	6.4	0.0	99.0	1,849
54期末(2016年4月7日)	7,982	90	2.9	17,713	3.3	—	98.9	1,834
55期末(2016年5月9日)	7,729	90	△ 2.0	17,631	△ 0.5	0.0	98.3	1,750
56期末(2016年6月7日)	7,925	90	3.7	18,079	2.5	0.0	98.4	1,721
57期末(2016年7月7日)	7,672	90	△ 2.1	17,996	△ 0.5	0.0	99.4	1,609
58期末(2016年8月8日)	8,004	90	5.5	18,709	4.0	0.0	98.9	1,609
59期末(2016年9月7日)	7,900	90	△ 0.2	18,740	0.2	0.0	99.2	1,502
60期末(2016年10月7日)	7,740	90	△ 0.9	18,519	△ 1.2	0.0	99.4	1,404
61期末(2016年11月7日)	7,345	90	△ 3.9	17,872	△ 3.5	0.0	95.5	1,278
62期末(2016年12月7日)	7,688	90	5.9	18,960	6.1	0.0	97.8	1,232
63期末(2017年1月10日)	7,776	90	2.3	19,446	2.6	0.0	98.5	1,200
64期末(2017年2月7日)	7,724	90	0.5	19,649	1.0	0.0	98.9	1,199
65期末(2017年3月7日)	7,892	90	3.3	20,358	3.6	0.0	95.7	1,187

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

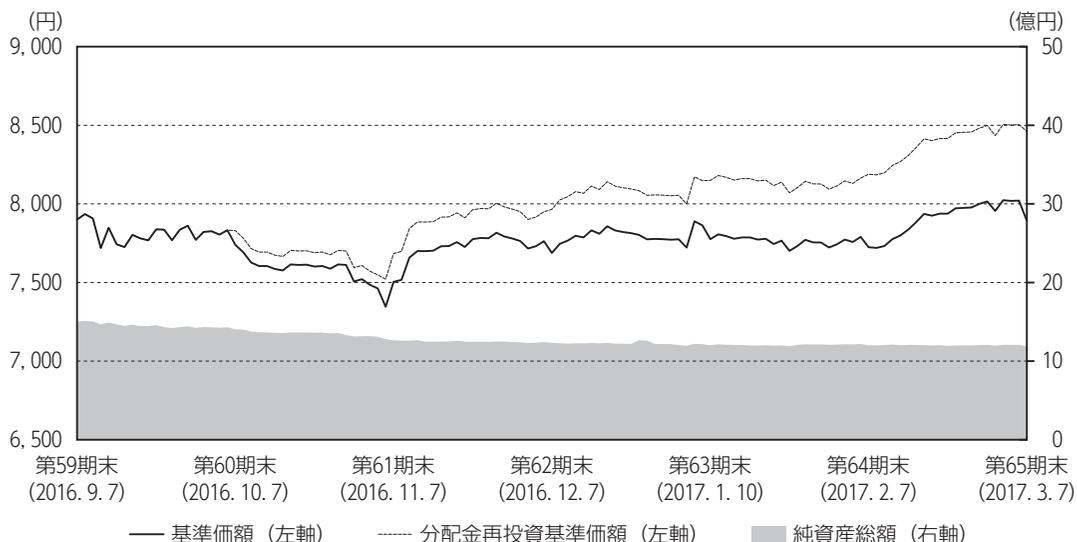
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第60期首：7,900円

第65期末：7,892円 (既払分配金540円)

騰落率：7.1% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」といいます。) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことが寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第60期	(期首) 2016年 9月 7日	円 7,900	% —	18,740	% —	% 0.0	% 99.2
	9月末	7,771	△ 1.6	18,437	△ 1.6	0.0	98.8
	(期末) 2016年10月 7日	7,830	△ 0.9	18,519	△ 1.2	0.0	99.4
第61期	(期首) 2016年10月 7日	7,740	—	18,519	—	0.0	99.4
	10月末	7,507	△ 3.0	18,225	△ 1.6	0.0	99.0
	(期末) 2016年11月 7日	7,435	△ 3.9	17,872	△ 3.5	0.0	95.5
第62期	(期首) 2016年11月 7日	7,345	—	17,872	—	0.0	95.5
	11月末	7,780	5.9	18,896	5.7	0.0	98.6
	(期末) 2016年12月 7日	7,778	5.9	18,960	6.1	0.0	97.8
第63期	(期首) 2016年12月 7日	7,688	—	18,960	—	0.0	97.8
	12月末	7,775	1.1	19,278	1.7	—	98.4
	(期末) 2017年 1月10日	7,866	2.3	19,446	2.6	0.0	98.5
第64期	(期首) 2017年 1月10日	7,776	—	19,446	—	0.0	98.5
	1月末	7,723	△ 0.7	19,549	0.5	0.0	98.2
	(期末) 2017年 2月 7日	7,814	0.5	19,649	1.0	0.0	98.9
第65期	(期首) 2017年 2月 7日	7,724	—	19,649	—	0.0	98.9
	2月末	8,016	3.8	20,311	3.4	0.0	98.5
	(期末) 2017年 3月 7日	7,982	3.3	20,358	3.6	0.0	95.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 9. 8 ~ 2017. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。2016年10月下旬から11月初めにかけては、米国の大統領選挙や年内の利上げをめぐり先行き不透明感が強まったこと、また、大統領選挙では共和党のトランプ氏の当選が決まり政治経済の混乱が警戒されたことなどを受けて下落しました。11月上旬以降は、過度な警戒感が後退し、トランプ氏の政策に期待が集まるようになって、経済成長とインフレが加速するとの楽観的な見方が広がり上昇しました。2017年2月上旬から第65期末にかけては、米国政府による金融規制緩和に向けた動きを好感したほか、トランプ大統領が大幅な減税策を打ち出すことを示唆したことによる財政刺激策への期待が高まり、上昇しました。

### ■ 短期金利市況

日本では、日銀が2016年9月の金融政策決定会合で「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入するなど、短期金利は低位で推移しました。

一方、F R B (米国連邦準備制度理事会) は2016年12月のF O M C (米国連邦公開市場委員会) で政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%から0.50~0.75%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

## ポートフォリオについて

(2016. 9. 8 ~ 2017. 3. 7)

### 当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

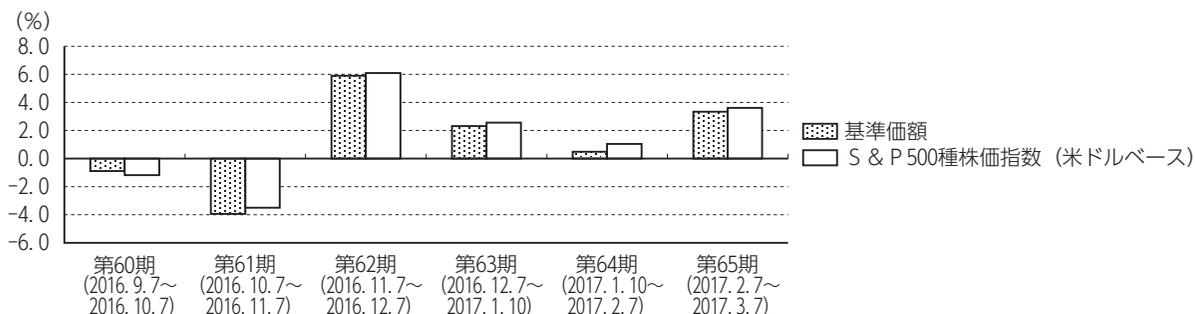
### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第60期から第65期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ90円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2016年9月8日 ～2016年10月7日	2016年10月8日 ～2016年11月7日	2016年11月8日 ～2016年12月7日	2016年12月8日 ～2017年1月10日	2017年1月11日 ～2017年2月7日	2017年2月8日 ～2017年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率（％）	1.15	1.21	1.16	1.14	1.15	1.13
当期の収益（円）	53	49	56	54	48	56
当期の収益以外（円）	37	40	33	35	41	33
翌期繰越分配対象額（円）	1,029	989	957	923	882	849

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	53.00円	49.52円	56.62円	54.13円	48.66円	56.75円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,066.76	1,030.26	990.43	959.26	924.03	882.73
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,119.76	1,079.78	1,047.05	1,013.39	972.69	939.49
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,029.76	989.78	957.05	923.39	882.69	849.49

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第60期～第65期 (2016. 9. 8～2017. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0. 655%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7, 763円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	51	0. 659	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

決算期	第 60 期 ~ 第 65 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 780.867	千円 68,429	千口 5,147.062	千円 448,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

買 付 銘 柄	第 60 期 ~			第 65 期 売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	113.215	10,000	88	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	5,147.062	448,000	87

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第60期~第65期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

区 分	第 60 期 ~ 第 65 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 169,324	百万円 50,861	% 30.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	6,937,587	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	75,999	—	—	74,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第60期~第65期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 65 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	12,449.962	1,135,971	95.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月7日現在

項 目	第 65 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,135,971	94.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	66,478	5.5
投資信託財産総額	1,202,585	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第59期末	第 65 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	135

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年10月7日)、(2016年11月7日)、(2016年12月7日)、(2017年1月10日)、(2017年2月7日)、(2017年3月7日)現在

項 目	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,432,465,500円</b>	<b>1,364,772,772円</b>	<b>1,252,311,773円</b>	<b>1,219,762,891円</b>	<b>1,221,696,167円</b>	<b>1,234,585,490円</b>
コール・ローン等	36,016,463	44,301,583	46,494,341	36,272,534	34,993,849	34,478,260
投資信託受益証券 (評価額)	1,396,313,692	1,220,335,844	1,205,682,100	1,183,355,025	1,186,566,999	1,135,971,911
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,345	135,345	135,332	135,332	135,319	135,319
未収入金	—	100,000,000	—	—	—	64,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>27,660,003</b>	<b>86,534,654</b>	<b>20,014,035</b>	<b>18,892,650</b>	<b>21,815,083</b>	<b>47,085,968</b>
未払金	—	50,000,000	—	—	—	32,000,000
未払収益分配金	16,335,427	15,662,823	14,426,160	13,899,107	13,980,884	13,542,911
未払解約金	9,731,635	19,330,097	4,201,337	3,446,734	6,566,069	270,633
未払信託報酬	1,583,266	1,522,751	1,359,246	1,510,289	1,224,130	1,220,963
その他未払費用	9,675	18,983	27,292	36,520	44,000	51,461
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>1,404,805,497</b>	<b>1,278,238,118</b>	<b>1,232,297,738</b>	<b>1,200,870,241</b>	<b>1,199,881,084</b>	<b>1,187,499,522</b>
元本	1,815,047,469	1,740,313,764	1,602,906,721	1,544,345,322	1,553,431,655	1,504,767,950
次期繰越損益金	△ 410,241,972	△ 462,075,646	△ 370,608,983	△ 343,475,081	△ 353,550,571	△ 317,268,428
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,815,047,469口</b>	<b>1,740,313,764口</b>	<b>1,602,906,721口</b>	<b>1,544,345,322口</b>	<b>1,553,431,655口</b>	<b>1,504,767,950口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	7,740円	7,345円	7,688円	7,776円	7,724円	7,892円

\* 第59期末における元本額は1,902,266,332円、当作成期間(第60期~第65期)中における追加設定元本額は214,573,001円、同解約元本額は612,071,383円です。

\* 第65期末の計算口数当りの純資産額は7,892円です。

\* 第65期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は317,268,428円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第60期 自 2016年9月8日 至 2016年10月7日 第62期 自 2016年11月8日 至 2016年12月7日 第64期 自 2017年1月11日 至 2017年2月7日  
 第61期 自 2016年10月8日 至 2016年11月7日 第63期 自 2016年12月8日 至 2017年1月10日 第65期 自 2017年2月8日 至 2017年3月7日

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(A) 配当等収益	11, 213, 399円	10, 151, 162円	9, 257, 962円	8, 835, 510円	8, 791, 440円	8, 811, 388円
受取配当金	11, 214, 517	10, 151, 899	9, 259, 230	8, 836, 970	8, 792, 359	8, 812, 049
受取利息	7	1	11	3	1	4
支払利息	△ 1, 125	△ 738	△ 1, 279	△ 1, 463	△ 920	△ 665
(B) 有価証券売買損益	△ 22, 268, 070	△ 61, 251, 555	△ 60, 256, 904	△ 19, 391, 705	△ 1, 508, 471	△ 31, 131, 569
売買益	1, 157, 951	1, 815, 443	62, 919, 404	19, 472, 522	48, 749	31, 531, 980
売買損	△ 23, 426, 021	△ 63, 066, 998	△ 2, 662, 500	△ 80, 817	△ 1, 557, 220	△ 400, 411
(C) 信託報酬等	△ 1, 592, 941	△ 1, 532, 059	△ 1, 367, 555	△ 1, 519, 517	△ 1, 231, 610	△ 1, 228, 424
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 12, 647, 612	△ 52, 632, 452	△ 68, 147, 311	△ 26, 707, 698	△ 6, 051, 359	△ 38, 714, 533
(E) 前期繰越損益金	△ 232, 861, 702	△ 241, 068, 735	△ 272, 245, 813	△ 196, 640, 060	△ 175, 442, 701	△ 170, 726, 386
(F) 追加信託差損益金	△ 148, 397, 231	△ 152, 711, 636	△ 152, 084, 321	△ 159, 643, 612	△ 170, 178, 345	△ 171, 713, 664
(配当等相当額)	( 193, 622, 658)	( 179, 297, 921)	( 158, 756, 906)	( 148, 144, 053)	( 143, 542, 433)	( 132, 831, 424)
(売買損益相当額)	(△ 342, 019, 889)	(△ 332, 009, 557)	(△ 310, 841, 227)	(△ 307, 787, 665)	(△ 313, 720, 778)	(△ 304, 545, 088)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 393, 906, 545	△ 446, 412, 823	△ 356, 182, 823	△ 329, 575, 974	△ 339, 569, 687	△ 303, 725, 517
(H) 収益分配金	△ 16, 335, 427	△ 15, 662, 823	△ 14, 426, 160	△ 13, 899, 107	△ 13, 980, 884	△ 13, 542, 911
次期繰越損益金 (G + H)	△ 410, 241, 972	△ 462, 075, 646	△ 370, 608, 983	△ 343, 475, 081	△ 353, 550, 571	△ 317, 268, 428
追加信託差損益金	△ 155, 112, 204	△ 159, 755, 357	△ 157, 434, 680	△ 165, 182, 822	△ 176, 599, 402	△ 176, 716, 178
(配当等相当額)	( 186, 907, 685)	( 172, 254, 200)	( 153, 406, 547)	( 142, 604, 843)	( 137, 121, 376)	( 127, 828, 910)
(売買損益相当額)	(△ 342, 019, 889)	(△ 332, 009, 557)	(△ 310, 841, 227)	(△ 307, 787, 665)	(△ 313, 720, 778)	(△ 304, 545, 088)
繰越損益金	△ 255, 129, 768	△ 302, 320, 289	△ 213, 174, 303	△ 178, 292, 259	△ 176, 951, 169	△ 140, 552, 250

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	9, 620, 454円	8, 619, 102円	9, 075, 801円	8, 359, 897円	7, 559, 827円	8, 540, 397円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	193, 622, 658	179, 297, 921	158, 756, 906	148, 144, 053	143, 542, 433	132, 831, 424
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	203, 243, 112	187, 917, 023	167, 832, 707	156, 503, 950	151, 102, 260	141, 371, 821
(f) 分配金	16, 335, 427	15, 662, 823	14, 426, 160	13, 899, 107	13, 980, 884	13, 542, 911
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	186, 907, 685	172, 254, 200	153, 406, 547	142, 604, 843	137, 121, 376	127, 828, 910
(h) 受益権総口数	1, 815, 047, 469口	1, 740, 313, 764口	1, 602, 906, 721口	1, 544, 345, 322口	1, 553, 431, 655口	1, 504, 767, 950口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	90円	90円	90円	90円	90円	90円
(単 価)	(7,740円)	(7,345円)	(7,688円)	(7,776円)	(7,724円)	(7,892円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
36期末(2014年10月7日)	11,375	200	△ 6.3	16,840	△ 2.1	95.44	△ 3.0	0.0	98.6	15,542
37期末(2014年11月7日)	11,689	200	4.5	17,409	3.4	98.59	3.3	0.0	98.0	16,212
38期末(2014年12月8日)	11,859	200	3.2	17,787	2.2	101.00	2.4	0.0	98.6	16,626
39期末(2015年1月7日)	10,676	200	△ 8.3	17,164	△ 3.5	95.81	△ 5.1	0.0	98.6	15,002
40期末(2015年2月9日)	10,349	200	△ 1.2	17,617	2.6	92.16	△ 3.8	0.0	98.8	14,858
41期末(2015年3月9日)	10,196	200	0.5	17,752	0.8	93.07	1.0	0.0	99.1	14,587
42期末(2015年4月7日)	9,579	200	△ 4.1	17,832	0.5	90.58	△ 2.7	0.0	98.0	14,353
43期末(2015年5月7日)	10,136	200	7.9	17,828	△ 0.0	94.95	4.8	0.0	98.4	15,611
44期末(2015年6月8日)	10,018	200	0.8	17,937	0.6	95.62	0.7	0.0	98.5	15,384
45期末(2015年7月7日)	9,087	200	△ 7.3	17,731	△ 1.2	91.88	△ 3.9	0.0	99.0	13,474
46期末(2015年8月7日)	8,612	200	△ 3.0	17,858	0.7	91.62	△ 0.3	0.0	98.9	12,753
47期末(2015年9月7日)	7,000	200	△ 16.4	16,466	△ 7.8	82.55	△ 9.9	0.0	98.8	9,910
48期末(2015年10月7日)	7,339	150	7.0	16,969	3.1	86.02	4.2	0.0	99.1	10,502
49期末(2015年11月9日)	7,550	150	4.9	17,992	6.0	86.79	0.9	0.0	98.8	10,554
50期末(2015年12月7日)	7,732	150	4.4	17,927	△ 0.4	90.27	4.0	0.0	99.0	10,557
51期末(2016年1月7日)	6,691	150	△ 11.5	17,058	△ 4.8	83.94	△ 7.0	0.0	98.3	9,190
52期末(2016年2月8日)	6,138	150	△ 6.0	16,113	△ 5.5	83.04	△ 1.1	0.0	99.0	8,304
53期末(2016年3月7日)	6,497	150	8.3	17,141	6.4	84.26	1.5	0.0	99.2	8,632
54期末(2016年4月7日)	6,443	150	1.5	17,713	3.3	83.52	△ 0.9	—	99.0	8,388
55期末(2016年5月9日)	5,811	150	△ 7.5	17,631	△ 0.5	79.14	△ 5.2	0.0	98.9	7,504
56期末(2016年6月7日)	5,985	100	4.7	18,079	2.5	79.16	0.0	0.0	98.6	7,468
57期末(2016年7月7日)	5,500	100	△ 6.4	17,996	△ 0.5	75.95	△ 4.1	0.0	98.8	6,515
58期末(2016年8月8日)	5,845	100	8.1	18,709	4.0	77.64	2.2	0.0	99.3	6,559
59期末(2016年9月7日)	5,817	100	1.2	18,740	0.2	77.78	0.2	0.0	99.1	6,046
60期末(2016年10月7日)	5,694	100	△ 0.4	18,519	△ 1.2	78.50	0.9	0.0	99.1	5,815
61期末(2016年11月7日)	5,404	100	△ 3.3	17,872	△ 3.5	79.78	1.6	0.0	98.7	5,210
62期末(2016年12月7日)	6,057	100	13.9	18,960	6.1	84.74	6.2	0.0	98.4	5,688
63期末(2017年1月10日)	6,126	100	2.8	19,446	2.6	85.16	0.5	0.0	98.6	5,615
64期末(2017年2月7日)	6,109	100	1.4	19,649	1.0	85.35	0.2	0.0	98.2	5,531
65期末(2017年3月7日)	6,261	100	4.1	20,358	3.6	86.48	1.3	0.0	99.0	5,569

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

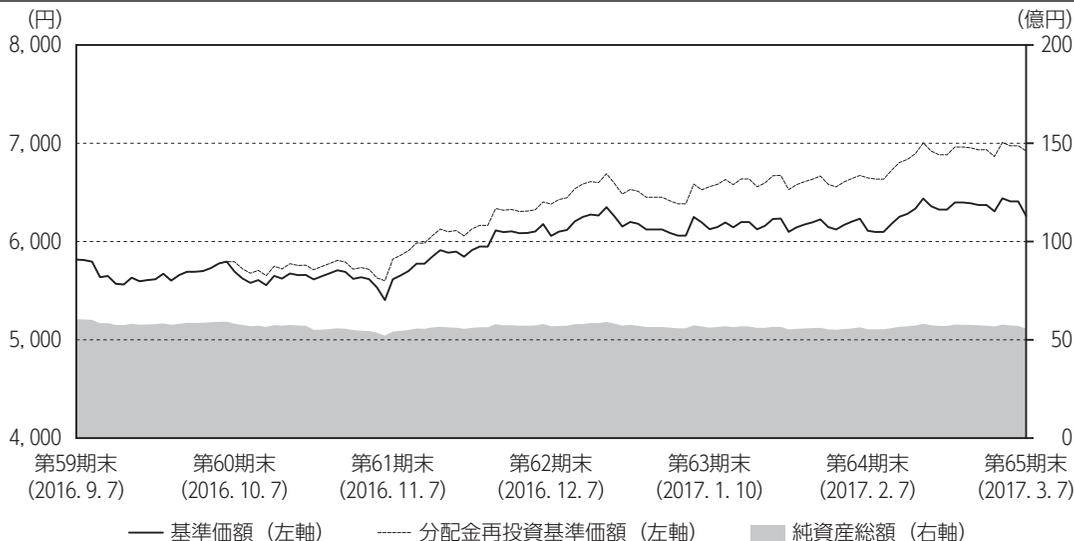
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第60期首：5,817円

第65期末：6,261円 (既払分配金600円)

騰落率：19.0% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)(以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)」といいます。)とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第60期	(期首) 2016年 9月 7日	5,817	—	18,740	—	77.78	—	0.0	99.1
	9月末	5,693	△ 2.1	18,437	△ 1.6	77.04	△ 1.0	0.0	99.3
	(期末) 2016年10月 7日	5,794	△ 0.4	18,519	△ 1.2	78.50	0.9	0.0	99.1
第61期	(期首) 2016年10月 7日	5,694	—	18,519	—	78.50	—	0.0	99.1
	10月末	5,620	△ 1.3	18,225	△ 1.6	79.59	1.4	0.0	98.3
	(期末) 2016年11月 7日	5,504	△ 3.3	17,872	△ 3.5	79.78	1.6	0.0	98.7
第62期	(期首) 2016年11月 7日	5,404	—	17,872	—	79.78	—	0.0	98.7
	11月末	6,104	13.0	18,896	5.7	84.14	5.5	0.0	99.8
	(期末) 2016年12月 7日	6,157	13.9	18,960	6.1	84.74	6.2	0.0	98.4
第63期	(期首) 2016年12月 7日	6,057	—	18,960	—	84.74	—	0.0	98.4
	12月末	6,060	0.0	19,278	1.7	84.36	△ 0.4	—	99.1
	(期末) 2017年 1月10日	6,226	2.8	19,446	2.6	85.16	0.5	0.0	98.6
第64期	(期首) 2017年 1月10日	6,126	—	19,446	—	85.16	—	0.0	98.6
	1月末	6,147	0.3	19,549	0.5	86.10	1.1	0.0	98.9
	(期末) 2017年 2月 7日	6,209	1.4	19,649	1.0	85.35	0.2	0.0	98.2
第65期	(期首) 2017年 2月 7日	6,109	—	19,649	—	85.35	—	0.0	98.2
	2月末	6,372	4.3	20,311	3.4	86.37	1.2	0.0	99.2
	(期末) 2017年 3月 7日	6,361	4.1	20,358	3.6	86.48	1.3	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 9. 8 ~ 2017. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。2016年10月下旬から11月初めにかけては、米国の大統領選挙や年内の利上げをめぐり先行き不透明感が強まったこと、また、大統領選挙では共和党のトランプ氏の当選が決まり政治経済の混乱が警戒されたことなどを受けて下落しました。11月上旬以降は、過度な警戒感が後退し、トランプ氏の政策に期待が集まるようになって、経済成長とインフレが加速するとの楽観的な見方が広がり上昇しました。2017年2月上旬から第65期末にかけては、米国政府による金融規制緩和に向けた動きを好感したほか、トランプ大統領が大幅な減税策を打ち出すことを示唆したことによる財政刺激策への期待が高まり、上昇しました。

### ■ 為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。2016年11月に行なわれた米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、豪ドルは円に対して上昇しました。12月に入っても、OPEC（石油輸出国機構）総会において減産が合意され、原油価格が急騰したことなどをを受けて続伸しました。年末にかけていったんは下落しましたが、2017年1月から2月にかけては、資源価格がおおむね堅調に推移したほか、オーストラリアや中国の経済指標に堅調なものが見られたことなどをを受けて、緩やかに上昇しました。

### ■ 短期金利市況

RBA（オーストラリア準備銀行）は政策金利を1.50%で据え置きました。

一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）は2016年12月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%から0.50~0.75%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016.9.8 ~ 2017.3.7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないました。

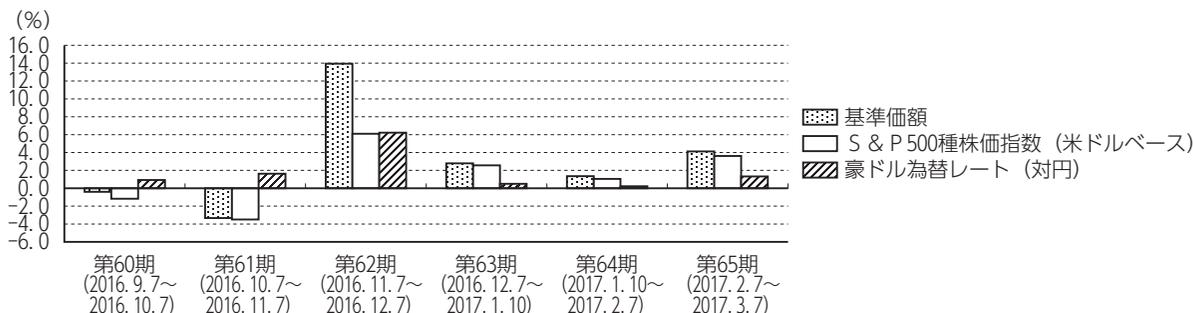
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第60期から第65期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2016年9月8日 ～2016年10月7日	2016年10月8日 ～2016年11月7日	2016年11月8日 ～2016年12月7日	2016年12月8日 ～2017年1月10日	2017年1月11日 ～2017年2月7日	2017年2月8日 ～2017年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	1.73	1.82	1.62	1.61	1.61	1.57
当期の収益（円）	44	45	49	48	51	52
当期の収益以外（円）	55	54	50	51	48	47
翌期繰越分配対象額（円）	1,372	1,318	1,267	1,217	1,169	1,121

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ 収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	44.74円	45.89円	49.09円	48.97円	51.55円	52.56円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,427.98	1,372.81	1,318.82	1,268.05	1,217.44	1,169.16
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,472.72	1,418.71	1,367.91	1,317.03	1,268.99	1,221.72
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,372.72	1,318.71	1,267.91	1,217.03	1,168.99	1,121.72

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行ないます。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第60期～第65期 (2016.9.8～2017.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.654%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,983円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	39	0.657	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

## ■売買および取引の状況

### 投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

決算期	第 60 期 ~ 第 65 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 3,535,587	千円 329,014	千口 16,428,834	千円 1,510,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

買 付 銘 柄	第 60 期 ~			第 65 期			
	付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 305.611	千円 30,000	円 98	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 16,428,834	千円 1,510,000	円 91

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

### (1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第60期~第65期) 中における利害関係人との取引はありません。

### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

決算期	第 60 期 ~ 第 65 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B		B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D
百万円		百万円	%			百万円
公社債	169,324	50,861	30.0	—	—	—
コール・ローン	6,937,587	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	75,999	—	—	74,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

### (3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第60期~第65期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 65 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	54,365.442	5,515,591	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月7日現在

項 目	第 65 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,515,591	96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	655	0.0
コール・ローン等、その他	195,858	3.4
投資信託財産総額	5,712,105	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第59期末	第 65 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	655

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年10月7日)、(2016年11月7日)、(2016年12月7日)、(2017年1月10日)、(2017年2月7日)、(2017年3月7日) 現在

項 目	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末
<b>(A) 資産</b>	<b>5,962,466,053円</b>	<b>5,383,969,807円</b>	<b>5,794,517,714円</b>	<b>5,751,879,034円</b>	<b>5,662,313,849円</b>	<b>5,712,105,675円</b>
コール・ローン等	197,365,671	160,178,926	194,487,752	214,016,733	229,060,283	195,858,561
投資信託受益証券 (評価額)	5,764,444,709	5,143,135,208	5,599,374,354	5,537,206,693	5,432,598,022	5,515,591,570
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	655,673	655,673	655,608	655,608	655,544	655,544
未収入金	—	80,000,000	—	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>147,079,379</b>	<b>173,416,353</b>	<b>105,829,636</b>	<b>136,122,798</b>	<b>131,172,156</b>	<b>142,813,507</b>
未払金	—	40,000,000	—	—	30,000,000	—
未払収益分配金	102,140,774	96,412,766	93,914,025	91,666,378	90,535,211	88,954,250
未払解約金	38,529,076	30,608,734	5,687,742	37,257,533	4,749,710	47,847,593
未払信託報酬	6,370,541	6,317,206	6,112,809	7,040,742	5,694,242	5,783,277
その他未払費用	38,988	77,647	115,060	158,145	192,993	228,387
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>5,815,386,674</b>	<b>5,210,553,454</b>	<b>5,688,688,078</b>	<b>5,615,756,236</b>	<b>5,531,141,693</b>	<b>5,569,292,168</b>
元本	10,214,077,443	9,641,276,664	9,391,402,533	9,166,637,820	9,053,521,152	8,895,425,004
次期繰越損益金	△ 4,398,690,769	△ 4,430,723,210	△ 3,702,714,455	△ 3,550,881,584	△ 3,522,379,459	△ 3,326,132,836
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>10,214,077,443口</b>	<b>9,641,276,664口</b>	<b>9,391,402,533口</b>	<b>9,166,637,820口</b>	<b>9,053,521,152口</b>	<b>8,895,425,004口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	5,694円	5,404円	6,057円	6,126円	6,109円	6,261円

\*第59期末における元本額は10,394,318,145円、当作成期間(第60期～第65期)中における追加設定元本額は601,889,661円、同解約元本額は2,100,782,802円です。

\*第65期末の計算口数当りの純資産額は6,261円です。

\*第65期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,326,132,836円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第60期 自 2016年9月8日 至 2016年10月7日 第62期 自 2016年11月8日 至 2016年12月7日 第64期 自 2017年1月11日 至 2017年2月7日  
 第61期 自 2016年10月8日 至 2016年11月7日 第63期 自 2016年12月8日 至 2017年1月10日 第65期 自 2017年2月8日 至 2017年3月7日

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(A) 配当等収益	52,112,405円	50,608,612円	46,507,193円	46,971,202円	50,262,603円	47,980,290円
受取配当金	52,115,615	50,612,000	46,510,747	46,976,679	50,266,096	47,983,586
受取利息	4	38	17	14	11	5
支払利息	△ 3,214	△ 3,426	△ 3,571	△ 5,491	△ 3,504	△ 3,301
(B) 有価証券売買損益	△ 67,586,162	△ 226,310,260	664,845,871	113,352,598	30,066,800	180,605,754
売買益	5,495,622	4,504,313	679,097,801	116,420,870	30,488,518	184,264,503
売買損	△ 73,081,784	△ 230,814,573	△ 14,251,930	△ 3,068,272	△ 421,718	△ 3,658,749
(C) 信託報酬等	△ 6,409,529	△ 6,355,865	△ 6,150,222	△ 7,083,827	△ 5,729,090	△ 5,818,671
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 21,883,286	△ 182,057,513	705,202,842	153,239,973	74,600,313	222,767,373
(E) 前期繰越損益金	△ 3,478,761,464	△ 3,327,213,501	△ 3,438,634,199	△ 2,669,908,531	△ 2,501,368,425	△ 2,413,592,467
(F) 追加信託差損益金	△ 795,905,245	△ 825,039,430	△ 875,369,073	△ 942,546,648	△ 1,005,076,136	△ 1,046,353,492
(配当等相当額)	( 1,458,552,216)	( 1,323,569,678)	( 1,238,557,068)	( 1,162,378,667)	( 1,102,213,800)	( 1,040,021,829)
(売買損益相当額)	(△ 2,254,457,461)	(△ 2,148,609,108)	(△ 2,113,926,141)	(△ 2,104,925,315)	(△ 2,107,289,936)	(△ 2,086,375,321)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,296,549,995	△ 4,334,310,444	△ 3,608,800,430	△ 3,459,215,206	△ 3,431,844,248	△ 3,237,178,586
(H) 収益分配金	△ 102,140,774	△ 96,412,766	△ 93,914,025	△ 91,666,378	△ 90,535,211	△ 88,954,250
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,398,690,769	△ 4,430,723,210	△ 3,702,714,455	△ 3,550,881,584	△ 3,522,379,459	△ 3,326,132,836
追加信託差損益金	△ 852,343,172	△ 877,199,470	△ 923,178,155	△ 989,317,415	△ 1,048,933,462	△ 1,088,548,815
(配当等相当額)	( 1,402,114,289)	( 1,271,409,638)	( 1,190,747,986)	( 1,115,607,900)	( 1,058,356,474)	( 997,826,506)
(売買損益相当額)	(△ 2,254,457,461)	(△ 2,148,609,108)	(△ 2,113,926,141)	(△ 2,104,925,315)	(△ 2,107,289,936)	(△ 2,086,375,321)
繰越損益金	△ 3,546,347,597	△ 3,553,523,740	△ 2,779,536,300	△ 2,561,564,169	△ 2,473,445,997	△ 2,237,584,021

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	45,702,847円	44,252,726円	46,104,943円	44,895,611円	46,677,885円	46,758,927円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,458,552,216	1,323,569,678	1,238,557,068	1,162,378,667	1,102,213,800	1,040,021,829
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,504,255,063	1,367,822,404	1,284,662,011	1,207,274,278	1,148,891,685	1,086,780,756
(f) 分配金	102,140,774	96,412,766	93,914,025	91,666,378	90,535,211	88,954,250
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,402,114,289	1,271,409,638	1,190,747,986	1,115,607,900	1,058,356,474	997,826,506
(h) 受益権総口数	10,214,077,443口	9,641,276,664口	9,391,402,533口	9,166,637,820口	9,053,521,152口	8,895,425,004口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
（単 価）	(5,694円)	(5,404円)	(6,057円)	(6,126円)	(6,109円)	(6,261円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
36期末(2014年10月7日)	8,734	200	△ 6.1	16,840	△ 2.1	44.90	△ 4.1	0.0	98.1	260,807
37期末(2014年11月7日)	8,639	200	1.2	17,409	3.4	44.79	△ 0.2	0.0	98.2	276,861
38期末(2014年12月8日)	8,840	200	4.6	17,787	2.2	46.97	4.9	0.0	98.4	300,293
39期末(2015年1月7日)	7,876	200	△ 8.6	17,164	△ 3.5	44.00	△ 6.3	0.0	98.1	280,073
40期末(2015年2月9日)	7,696	200	0.3	17,617	2.6	42.73	△ 2.9	0.0	98.4	289,140
41期末(2015年3月9日)	6,933	200	△ 7.3	17,752	0.8	39.41	△ 7.8	0.0	97.9	272,339
42期末(2015年4月7日)	6,391	200	△ 4.9	17,832	0.5	38.24	△ 3.0	0.0	98.1	256,078
43期末(2015年5月7日)	6,841	150	9.4	17,828	△ 0.0	39.33	2.9	0.0	97.6	281,797
44期末(2015年6月8日)	6,664	150	△ 0.4	17,937	0.6	39.94	1.6	0.0	99.1	264,829
45期末(2015年7月7日)	6,210	150	△ 4.6	17,731	△ 1.2	39.11	△ 2.1	0.0	99.1	239,212
46期末(2015年8月7日)	5,384	150	△ 10.9	17,858	0.7	35.28	△ 9.8	0.0	99.1	202,612
47期末(2015年9月7日)	4,309	150	△ 17.2	16,466	△ 7.8	30.98	△ 12.2	0.0	98.9	158,087
48期末(2015年10月7日)	4,319	100	2.6	16,969	3.1	31.23	0.8	0.0	99.1	155,297
49期末(2015年11月9日)	4,542	100	7.5	17,992	6.0	32.72	4.8	0.0	98.8	160,651
50期末(2015年12月7日)	4,577	100	3.0	17,927	△ 0.4	32.84	0.4	0.0	99.0	160,226
51期末(2016年1月7日)	3,857	100	△ 13.5	17,058	△ 4.8	29.44	△ 10.4	0.0	98.9	132,134
52期末(2016年2月8日)	3,630	100	△ 3.3	16,113	△ 5.5	29.95	1.7	0.0	99.0	121,832
53期末(2016年3月7日)	3,871	100	9.4	17,141	6.4	30.29	1.1	0.0	99.0	128,718
54期末(2016年4月7日)	3,832	100	1.6	17,713	3.3	30.10	△ 0.6	—	99.0	125,430
55期末(2016年5月9日)	3,703	100	△ 0.8	17,631	△ 0.5	30.69	2.0	0.0	98.9	120,334
56期末(2016年6月7日)	3,860	70	6.1	18,079	2.5	30.77	0.3	0.0	98.6	123,741
57期末(2016年7月7日)	3,700	70	△ 2.3	17,996	△ 0.5	30.32	△ 1.5	0.0	99.4	111,135
58期末(2016年8月8日)	4,080	70	12.2	18,709	4.0	32.25	6.4	0.0	99.3	117,443
59期末(2016年9月7日)	4,000	70	△ 0.2	18,740	0.2	31.71	△ 1.7	0.0	99.3	112,873
60期末(2016年10月7日)	4,004	70	1.9	18,519	△ 1.2	32.13	1.3	0.0	99.3	108,731
61期末(2016年11月7日)	3,767	70	△ 4.2	17,872	△ 3.5	32.12	△ 0.0	0.0	98.7	98,855
62期末(2016年12月7日)	4,149	70	12.0	18,960	6.1	33.48	4.2	0.0	99.3	105,586
63期末(2017年1月10日)	4,605	70	12.7	19,446	2.6	36.25	8.3	0.0	98.8	114,384
64期末(2017年2月7日)	4,571	70	0.8	19,649	1.0	35.83	△ 1.2	0.0	98.6	110,071
65期末(2017年3月7日)	4,754	70	5.5	20,358	3.6	36.33	1.4	0.0	98.8	111,233

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

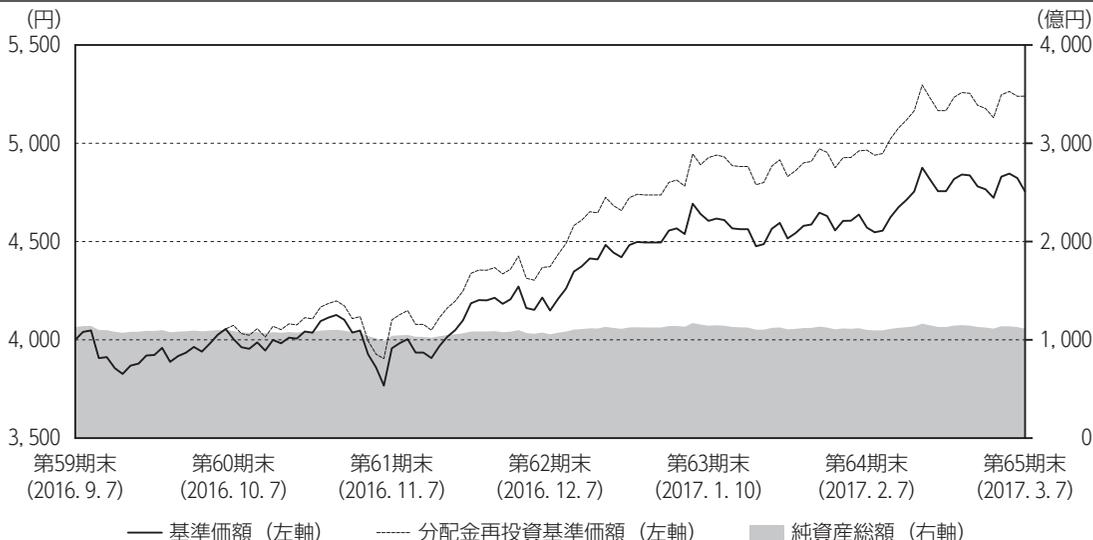
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第60期首：4,000円

第65期末：4,754円（既払分配金420円）

騰落率：31.0%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことやブラジル・リアルが対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第60期	(期首) 2016年 9月 7日	4,000	—	18,740	—	31.71	—	0.0	99.3
	9月末	3,964	△ 0.9	18,437	△ 1.6	31.01	△ 2.2	0.0	99.5
	(期末) 2016年10月 7日	4,074	1.9	18,519	△ 1.2	32.13	1.3	0.0	99.3
第61期	(期首) 2016年10月 7日	4,004	—	18,519	—	32.13	—	0.0	99.3
	10月末	4,037	0.8	18,225	△ 1.6	32.73	1.9	0.0	98.7
	(期末) 2016年11月 7日	3,837	△ 4.2	17,872	△ 3.5	32.12	△ 0.0	0.0	98.7
第62期	(期首) 2016年11月 7日	3,767	—	17,872	—	32.12	—	0.0	98.7
	11月末	4,206	11.7	18,896	5.7	33.12	3.1	0.0	99.1
	(期末) 2016年12月 7日	4,219	12.0	18,960	6.1	33.48	4.2	0.0	99.3
第63期	(期首) 2016年12月 7日	4,149	—	18,960	—	33.48	—	0.0	99.3
	12月末	4,567	10.1	19,278	1.7	35.72	6.7	—	98.7
	(期末) 2017年 1月10日	4,675	12.7	19,446	2.6	36.25	8.3	0.0	98.8
第64期	(期首) 2017年 1月10日	4,605	—	19,446	—	36.25	—	0.0	98.8
	1月末	4,630	0.5	19,549	0.5	36.40	0.4	0.0	99.4
	(期末) 2017年 2月 7日	4,641	0.8	19,649	1.0	35.83	△ 1.2	0.0	98.6
第65期	(期首) 2017年 2月 7日	4,571	—	19,649	—	35.83	—	0.0	98.6
	2月末	4,766	4.3	20,311	3.4	36.16	0.9	0.0	99.1
	(期末) 2017年 3月 7日	4,824	5.5	20,358	3.6	36.33	1.4	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 9. 8 ~ 2017. 3. 7)

### ■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。2016年10月下旬から11月初めにかけては、米国の大統領選挙や年内の利上げをめぐり先行き不透明感が強まったこと、また、大統領選挙では共和党のトランプ氏の当選が決まり政治経済の混乱が警戒されたことなどを受けて下落しました。11月上旬以降は、過度な警戒感が後退し、トランプ氏の政策に期待が集まるようになって、経済成長とインフレが加速するとの楽観的な見方が広がり上昇しました。2017年2月上旬から第65期末にかけては、米国政府による金融規制緩和に向けた動きを好感したほか、トランプ大統領が大幅な減税策を打ち出すことを示唆したことによる財政刺激策への期待が高まり、上昇しました。

### ■為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。2016年10月から11月にかけては、原油価格の上昇などを背景に市場のリスク選好度が強まり、ブラジル・リアルは対円で上昇しました。12月に入ると、ブラジル国内での財政再建期待が高まったことや、OPEC（石油輸出国機構）総会において減産が合意され、原油価格が急騰したことなどを受けて続伸しました。2017年に入っても、世界的に株価が堅調に推移したことや、米国のトランプ大統領が米ドル高けん制発言をしたことなどを受けて、底堅く推移しました。

### ■短期金利市況

ブラジル中央銀行は政策金利を14.25%から合計2.00%ポイント引き下げ、12.25%としました。一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）は2016年12月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.25~0.50%から0.50~0.75%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行ないます。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016. 9. 8 ~ 2017. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行ないました。

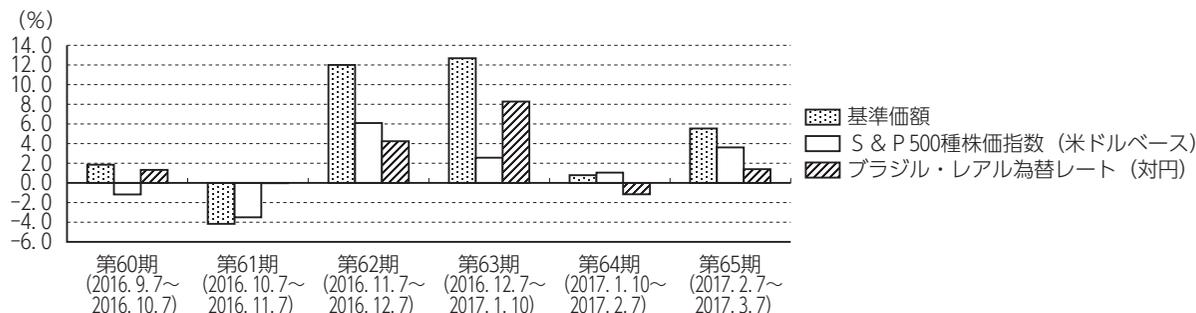
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第60期から第65期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2016年9月8日 ～2016年10月7日	2016年10月8日 ～2016年11月7日	2016年11月8日 ～2016年12月7日	2016年12月8日 ～2017年1月10日	2017年1月11日 ～2017年2月7日	2017年2月8日 ～2017年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（%）	1.72	1.82	1.66	1.50	1.51	1.45
当期の収益（円）	66	70	67	69	70	70
当期の収益以外（円）	3	—	2	0	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,557	1,558	1,556	1,556	1,563	1,568

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	66.56円	70.87円	67.36円	69.69円	77.67円	74.09円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,559.14	1,557.93	1,558.00	1,556.35	1,556.26	1,556.54
(d) 分配準備積立金	2.09	0.00	0.87	0.00	0.00	7.63
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,627.80	1,628.81	1,626.24	1,626.05	1,633.94	1,638.27
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,557.80	1,558.81	1,556.24	1,556.05	1,563.94	1,568.27

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行ないます。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第60期～第65期 (2016.9.8～2017.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	28円	0.653%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,306円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.213)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.427)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	28	0.653	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

決算期	第 60 期 ~ 第 65 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	191,612.557	11,359,931	543,555.259	32,400,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

買 付 銘 柄	第 60 期 ~			第 65 期			
	付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	543,555.259	32,400,000	59

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第60期~第65期) 中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第60期~第65期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

決算期	第 60 期 ~ 第 65 期					
	買付額等 A			売付額等 C		
区 分	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	うち利害関係人との取引状況 D	D/C		
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	169,324	50,861	30.0	—	—	—
コール・ローン	6,937,587	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	75,999	—	—	74,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 65 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	1,636,468.379	109,852,849	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月7日現在

項 目	第 65 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	109,852,849	96.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,486	0.0
コール・ローン等、その他	4,036,361	3.5
投資信託財産総額	113,893,697	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第59期末	第 65 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,486

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年10月7日)、(2016年11月7日)、(2016年12月7日)、(2017年1月10日)、(2017年2月7日)、(2017年3月7日) 現在

項 目	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末
<b>(A) 資産</b>	<b>111,950,906,598円</b>	<b>103,168,556,336円</b>	<b>108,507,058,366円</b>	<b>116,896,279,558円</b>	<b>112,651,204,705円</b>	<b>113,893,697,144円</b>
コール・ローン等	3,979,274,583	4,184,827,664	3,644,828,565	3,833,097,249	4,146,738,078	4,036,361,216
投資信託受益証券 (評価額)	107,967,144,571	97,579,241,229	104,857,742,797	113,058,695,305	108,499,980,063	109,852,849,364
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,487,444	4,487,444	4,487,004	4,487,004	4,486,564	4,486,564
未収入金	—	1,399,999,999	—	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>3,219,437,571</b>	<b>4,312,810,341</b>	<b>2,920,955,469</b>	<b>2,512,054,002</b>	<b>2,579,235,354</b>	<b>2,659,765,074</b>
未払金	—	700,000,000	—	—	—	—
未払収益分配金	1,900,885,323	1,836,913,324	1,781,432,229	1,738,592,282	1,685,523,710	1,637,705,545
未払解約金	1,199,090,586	1,655,014,481	1,023,783,977	634,140,510	778,946,379	906,210,418
未払信託報酬	119,291,597	120,525,550	115,203,609	138,570,645	113,838,150	114,737,017
その他未払費用	170,065	356,986	535,654	750,565	927,115	1,112,094
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>108,731,469,027</b>	<b>98,855,745,995</b>	<b>105,586,102,897</b>	<b>114,384,225,556</b>	<b>110,071,969,351</b>	<b>111,233,932,070</b>
元本	271,555,046,243	262,416,189,248	254,490,318,548	248,370,326,029	240,789,101,454	233,957,935,074
次期繰越損益金	△ 162,823,577,216	△ 163,560,443,253	△ 148,904,215,651	△ 133,986,100,473	△ 130,717,132,103	△ 122,724,003,004
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>271,555,046,243口</b>	<b>262,416,189,248口</b>	<b>254,490,318,548口</b>	<b>248,370,326,029口</b>	<b>240,789,101,454口</b>	<b>233,957,935,074口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	4,004円	3,767円	4,149円	4,605円	4,571円	4,754円

\*第59期末における元本額は282,165,637,824円、当作成期間 (第60期～第65期) 中における追加設定元本額は8,074,339,124円、同解約元本額は56,282,041,874円です。

\*第65期末の計算口数当りの純資産額は4,754円です。

\*第65期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は122,724,003,004円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第60期 自 2016年9月8日 至 2016年10月7日 第62期 自 2016年11月8日 至 2016年12月7日 第64期 自 2017年1月11日 至 2017年2月7日  
 第61期 自 2016年10月8日 至 2016年11月7日 第63期 自 2016年12月8日 至 2017年1月10日 第65期 自 2017年2月8日 至 2017年3月7日

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(A) 配当等収益	1,915,381,403円	1,980,716,128円	1,731,619,950円	1,749,519,148円	1,984,457,767円	1,767,355,863円
受取配当金	1,915,430,949	1,980,774,267	1,731,687,776	1,749,603,142	1,984,515,962	1,767,409,484
受取利息	134	196	191	153	197	218
支払利息	△ 49,680	△ 58,335	△ 68,017	△ 84,147	△ 58,392	△ 53,839
(B) 有価証券売買損益	208,611,646	△ 6,240,778,187	9,863,890,267	11,447,845,283	△ 1,004,450,698	4,250,895,033
売買益	347,965,920	51,304,682	10,107,710,306	11,623,438,923	56,878,979	4,353,583,094
売買損	△ 139,354,274	△ 6,292,082,869	△ 243,820,039	△ 175,593,640	△ 1,061,329,677	△ 102,688,061
(C) 信託報酬等	△ 119,461,662	△ 120,712,471	△ 115,382,277	△ 138,785,556	△ 114,014,700	△ 114,921,996
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,004,531,387	4,380,774,530	11,480,127,940	13,058,578,875	865,992,369	5,903,328,900
(E) 前期繰越損益金	△ 101,030,851,802	△ 96,999,757,958	△ 99,569,461,454	△ 87,259,612,773	△ 73,190,574,917	△ 71,458,210,431
(F) 追加信託差損益金	△ 61,896,371,478	△ 60,342,997,441	△ 59,033,449,908	△ 58,046,474,293	△ 56,707,025,845	△ 55,531,415,928
(配当等相当額)	( 42,339,340,512)	( 40,882,862,135)	( 39,649,666,434)	( 38,655,220,761)	( 37,473,077,499)	( 36,416,596,642)
(売買損益相当額)	(△ 104,235,711,990)	(△ 101,225,859,576)	(△ 98,683,116,342)	(△ 96,701,695,054)	(△ 94,180,103,344)	(△ 91,948,012,570)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 160,922,691,893	△ 161,723,529,929	△ 147,122,783,422	△ 132,247,508,191	△ 129,031,608,393	△ 121,086,297,459
(H) 収益分配金	△ 1,900,885,323	△ 1,836,913,324	△ 1,781,432,229	△ 1,738,592,282	△ 1,685,523,710	△ 1,637,705,545
次期繰越損益金 (G + H)	△ 162,823,577,216	△ 163,560,443,253	△ 148,904,215,651	△ 133,986,100,473	△ 130,717,132,103	△ 122,724,003,004
追加信託差損益金	△ 61,932,601,250	△ 60,342,997,441	△ 59,078,214,846	△ 58,053,950,619	△ 56,707,025,845	△ 55,531,415,928
(配当等相当額)	( 42,303,110,740)	( 40,882,862,135)	( 39,604,901,496)	( 38,647,744,435)	( 37,473,077,499)	( 36,416,596,642)
(売買損益相当額)	(△ 104,235,711,990)	(△ 101,225,859,576)	(△ 98,683,116,342)	(△ 96,701,695,054)	(△ 94,180,103,344)	(△ 91,948,012,570)
分配準備積立金	—	23,090,164	—	—	184,919,159	274,440,619
繰越損益金	△ 100,890,975,966	△ 103,240,535,976	△ 89,826,000,805	△ 75,932,149,854	△ 74,195,025,417	△ 67,467,027,695

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,807,650,666円	1,860,003,488円	1,714,393,196円	1,731,115,956円	1,870,442,869円	1,733,603,087円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	42,339,340,512	40,882,862,135	39,649,666,434	38,655,220,761	37,473,077,499	36,416,596,642
(d) 分配準備積立金	57,004,885	0	22,274,095	0	0	178,543,077
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	44,203,996,063	42,742,865,623	41,386,333,725	40,386,336,717	39,343,520,368	38,328,742,806
(f) 分配金	1,900,885,323	1,836,913,324	1,781,432,229	1,738,592,282	1,685,523,710	1,637,705,545
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	42,303,110,740	40,905,952,299	39,604,901,496	38,647,744,435	37,657,996,658	36,691,037,261
(h) 受益権総口数	271,555,046,243口	262,416,189,248口	254,490,318,548口	248,370,326,029口	240,789,101,454口	233,957,935,074口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	70円	70円	70円	70円	70円	70円
（単 価）	（4, 004円）	（3, 767円）	（4, 149円）	（4, 605円）	（4, 571円）	（4, 754円）

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## 米ドル・コース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
36期末(2014年10月7日)	15,568	150	0.3	23,903	1.4	0.0	98.7	3,636
37期末(2014年11月7日)	16,302	150	5.7	26,099	9.2	0.0	96.1	4,333
38期末(2014年12月8日)	16,999	300	6.1	28,177	8.0	0.0	98.7	4,965
39期末(2015年1月7日)	15,720	300	△ 5.8	26,577	△ 5.7	0.0	96.7	6,754
40期末(2015年2月9日)	15,784	300	2.3	27,294	2.7	0.0	97.6	8,682
41期末(2015年3月9日)	15,682	300	1.3	27,927	2.3	0.0	97.3	10,839
42期末(2015年4月7日)	15,053	300	△ 2.1	27,770	△ 0.6	0.0	95.2	15,292
43期末(2015年5月7日)	15,380	300	4.2	27,717	△ 0.2	0.0	97.7	16,658
44期末(2015年6月8日)	15,586	300	3.3	29,328	5.8	0.0	98.8	16,531
45期末(2015年7月7日)	14,327	300	△ 6.2	28,353	△ 3.3	0.0	98.7	15,810
46期末(2015年8月7日)	13,920	300	△ 0.7	29,024	2.4	0.0	97.9	15,460
47期末(2015年9月7日)	12,014	300	△ 11.5	25,546	△ 12.0	0.0	98.1	13,838
48期末(2015年10月7日)	12,194	300	4.0	26,600	4.1	0.0	98.6	14,448
49期末(2015年11月9日)	12,657	300	6.3	28,906	8.7	0.0	98.7	15,997
50期末(2015年12月7日)	12,341	300	△ 0.1	28,787	△ 0.4	0.0	97.7	16,213
51期末(2016年1月7日)	11,055	300	△ 8.0	26,368	△ 8.4	0.0	98.2	15,525
52期末(2016年2月8日)	10,073	300	△ 6.2	24,568	△ 6.8	0.0	98.2	14,784
53期末(2016年3月7日)	10,138	300	3.6	25,394	3.4	0.0	98.6	15,137
54期末(2016年4月7日)	9,804	300	△ 0.3	25,294	△ 0.4	—	98.6	15,015
55期末(2016年5月9日)	9,023	300	△ 4.9	24,684	△ 2.4	0.0	98.5	14,587
56期末(2016年6月7日)	9,217	200	4.4	25,294	2.5	0.0	96.9	15,563
57期末(2016年7月7日)	8,295	200	△ 7.8	23,678	△ 6.4	0.0	99.0	13,834
58期末(2016年8月8日)	8,641	200	6.6	24,893	5.1	0.0	98.9	14,295
59期末(2016年9月7日)	8,461	200	0.2	24,751	△ 0.6	0.0	98.4	14,017
60期末(2016年10月7日)	8,333	200	0.9	25,034	1.1	0.0	98.4	13,756
61期末(2016年11月7日)	7,754	200	△ 4.5	24,207	△ 3.3	0.0	98.6	12,719
62期末(2016年12月7日)	8,880	200	17.1	28,207	16.5	0.0	97.9	14,642
63期末(2017年1月10日)	9,099	200	4.7	29,381	4.2	0.0	98.0	15,090
64期末(2017年2月7日)	8,642	200	△ 2.8	28,609	△ 2.6	0.0	98.5	14,350
65期末(2017年3月7日)	8,865	200	4.9	30,234	5.7	0.0	98.4	14,910

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

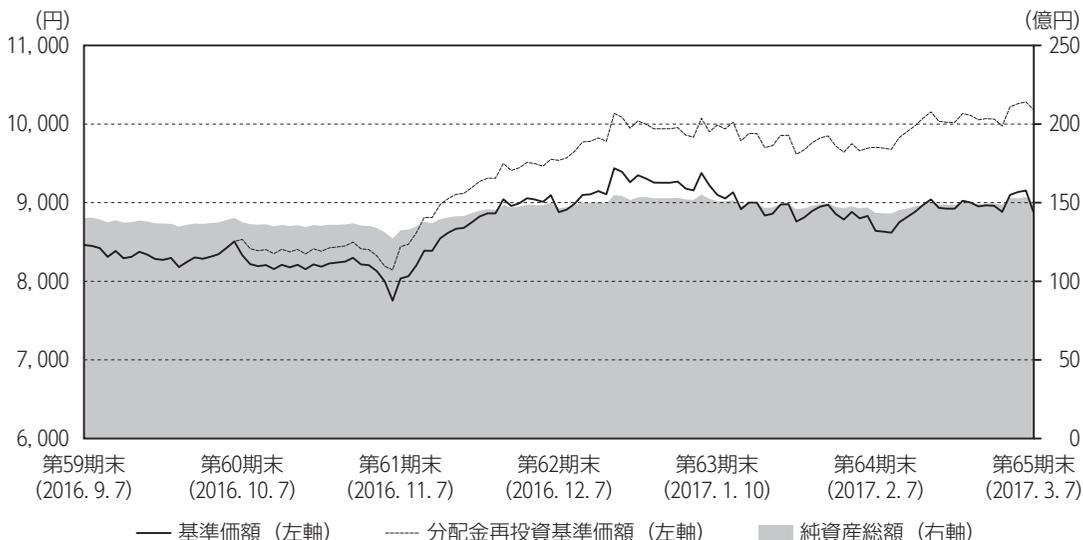
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第60期首：8,461円

第65期末：8,865円 (既払分配金1,200円)

騰落率：20.3% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) (以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことが寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第60期	(期首) 2016年 9月 7日	8,461	—	24,751	—	0.0	98.4
	9月末	8,287	△ 2.1	24,291	△ 1.9	0.0	99.1
	(期末) 2016年10月 7日	8,533	0.9	25,034	1.1	0.0	98.4
第61期	(期首) 2016年10月 7日	8,333	—	25,034	—	0.0	98.4
	10月末	8,215	△ 1.4	24,900	△ 0.5	0.0	98.6
	(期末) 2016年11月 7日	7,954	△ 4.5	24,207	△ 3.3	0.0	98.6
第62期	(期首) 2016年11月 7日	7,754	—	24,207	—	0.0	98.6
	11月末	8,992	16.0	27,677	14.3	0.0	98.8
	(期末) 2016年12月 7日	9,080	17.1	28,207	16.5	0.0	97.9
第63期	(期首) 2016年12月 7日	8,880	—	28,207	—	0.0	97.9
	12月末	9,179	3.4	29,260	3.7	—	98.1
	(期末) 2017年 1月10日	9,299	4.7	29,381	4.2	0.0	98.0
第64期	(期首) 2017年 1月10日	9,099	—	29,381	—	0.0	98.0
	1月末	8,853	△ 2.7	28,989	△ 1.3	0.0	98.3
	(期末) 2017年 2月 7日	8,842	△ 2.8	28,609	△ 2.6	0.0	98.5
第65期	(期首) 2017年 2月 7日	8,642	—	28,609	—	0.0	98.5
	2月末	8,960	3.7	29,787	4.1	0.0	98.1
	(期末) 2017年 3月 7日	9,065	4.9	30,234	5.7	0.0	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 9. 8 ~ 2017. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。2016年10月下旬から11月初めにかけては、米国の大統領選挙や年内の利上げをめぐり先行き不透明感が強まったこと、また、大統領選挙では共和党のトランプ氏の当選が決まり政治経済の混乱が警戒されたことなどを受けて下落しました。11月上旬以降は、過度な警戒感が後退し、トランプ氏の政策に期待が集まるようになって、経済成長とインフレが加速するとの楽観的な見方が広がり上昇しました。2017年2月上旬から第65期末にかけては、米国政府による金融規制緩和に向けた動きを好感したほか、トランプ大統領が大幅な減税策を打ち出すことを示唆したことによる財政刺激策への期待が高まり、上昇しました。

### ■ 為替相場

米ドルは対円で上昇しました。2016年11月に行なわれた米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、米ドルをはじめとした通貨は円に対して上昇しました。12月に入っても、OPEC（石油輸出国機構）総会において減産が合意され、原油価格が急騰したことなどを受けて続伸しました。2017年1月から2月にかけては、米国の貿易赤字解消を積極的にめざすトランプ大統領の姿勢から米ドル高への警戒感が強まったことなどを受けて、米ドル円は緩やかな下落基調となりました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（GICS）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016. 9. 8～2017. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

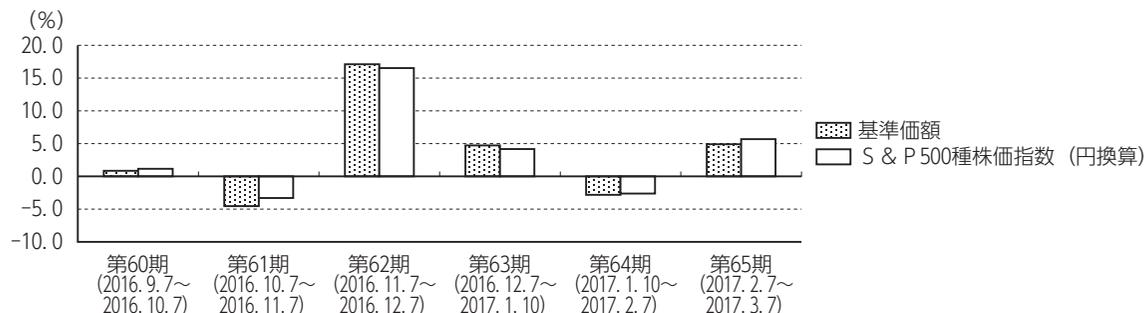
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第60期から第65期の1万口当り分配金 (税込み) はそれぞれ200円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程 (1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当り)

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2016年9月8日 ~2016年10月7日	2016年10月8日 ~2016年11月7日	2016年11月8日 ~2016年12月7日	2016年12月8日 ~2017年1月10日	2017年1月11日 ~2017年2月7日	2017年2月8日 ~2017年3月7日
当期分配金 (税込み) (円)	200	200	200	200	200	200
対基準価額比率 (%)	2.34	2.51	2.20	2.15	2.26	2.21
当期の収益 (円)	60	57	63	66	64	68
当期の収益以外 (円)	139	142	136	133	135	131
翌期繰越分配対象額 (円)	3,662	3,520	3,385	3,253	3,118	2,988

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	60.06円	57.53円	63.77円	66.28円	64.09円	68.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,802.74	3,663.01	3,521.60	3,387.28	3,254.77	3,120.50
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,862.81	3,720.55	3,585.38	3,453.56	3,318.86	3,188.80
(f) 分配金	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,662.81	3,520.55	3,385.38	3,253.56	3,118.86	2,988.80

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第60期～第65期 (2016. 9. 8～2017. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0. 655%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 708円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0. 659	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

## ■売買および取引の状況

### 投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

決算期	第 60 期 ~ 第 65 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	8,821,493	1,158,764	17,939.24	2,320,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

買 付	第 60 期 ~			平均単価	売 付	第 65 期		
	銘 柄	口 数	金 額			銘 柄	口 数	金 額
		千口	千円			円		千口
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	3,545.087	470,000	132	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	17,939.24	2,320,000	129	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

### (1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第60期~第65期) 中における利害関係人との取引はありません。

### (3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第60期~第65期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

区 分	第 60 期 ~ 第 65 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 169,324	百万円 50,861	% 30.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	6,937,587	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	75,999	—	—	74,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 65 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	104,059.791	14,667,955	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月7日現在

項 目	第 65 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	14,667,955	94.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	916,716	5.9
投資信託財産総額	15,584,685	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第59期末	第 65 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年10月7日)、(2016年11月7日)、(2016年12月7日)、(2017年1月10日)、(2017年2月7日)、(2017年3月7日) 現在

項 目	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,138,708,790円</b>	<b>13,239,912,774円</b>	<b>15,042,726,929円</b>	<b>15,557,965,484円</b>	<b>14,803,832,624円</b>	<b>15,584,685,599円</b>
コール・ローン等	599,994,347	520,989,461	713,769,701	773,762,584	663,941,763	916,716,578
投資信託受益証券 (評価額)	13,538,701,410	12,538,910,281	14,328,944,196	14,784,189,868	14,139,877,831	14,667,955,991
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,033	13,033	13,032	13,032	13,030	13,030
未収入金	—	179,999,999	—	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>381,827,753</b>	<b>520,603,854</b>	<b>400,705,655</b>	<b>467,696,767</b>	<b>453,038,831</b>	<b>674,123,409</b>
未払金	—	90,000,000	—	—	—	150,000,000
未払収益分配金	330,195,041	328,076,241	329,775,553	331,708,083	332,130,269	336,395,821
未払解約金	36,557,345	87,127,150	55,157,715	116,871,975	105,378,645	172,062,624
未払信託報酬	14,983,643	15,215,597	15,492,680	18,722,393	15,043,512	15,086,207
その他未払費用	91,724	184,866	279,707	394,316	486,405	578,757
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>13,756,881,037</b>	<b>12,719,308,920</b>	<b>14,642,021,274</b>	<b>15,090,268,717</b>	<b>14,350,793,793</b>	<b>14,910,562,190</b>
元本	16,509,752,058	16,403,812,060	16,488,777,694	16,585,404,171	16,606,513,454	16,819,791,065
次期繰越損益金	△ 2,752,871,021	△ 3,684,503,140	△ 1,846,756,420	△ 1,495,135,454	△ 2,255,719,661	△ 1,909,228,875
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>16,509,752,058口</b>	<b>16,403,812,060口</b>	<b>16,488,777,694口</b>	<b>16,585,404,171口</b>	<b>16,606,513,454口</b>	<b>16,819,791,065口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	8,333円	7,754円	8,880円	9,099円	8,642円	8,865円

\* 第59期末における元本額は16,567,105,927円、当作成期間 (第60期~第65期) 中における追加設定元本額は3,225,969,662円、同解約元本額は2,973,284,524円です。

\* 第65期末の計算口数当りの純資産額は8,865円です。

\* 第65期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,909,228,875円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第60期 自 2016年9月8日 至 2016年10月7日 第62期 自 2016年11月8日 至 2016年12月7日 第64期 自 2017年1月11日 至 2017年2月7日  
 第61期 自 2016年10月8日 至 2016年11月7日 第63期 自 2016年12月8日 至 2017年1月10日 第65期 自 2017年2月8日 至 2017年3月7日

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(A) 配当等収益	111,450,557円	109,684,803円	105,933,747円	113,016,507円	121,568,990円	117,392,991円
受取配当金	111,460,987	109,692,736	105,945,929	113,034,225	121,584,656	117,404,533
受取利息	12	17	53	41	26	17
支払利息	△ 10,442	△ 7,950	△ 12,235	△ 17,759	△ 15,692	△ 11,559
(B) 有価証券売買損益	25,352,253	△ 713,098,545	2,039,501,313	577,307,284	△ 523,740,646	589,985,814
売買益	32,073,321	5,974,906	2,082,960,175	590,127,991	11,820,686	598,994,327
売買損	△ 6,721,068	△ 719,073,451	△ 43,458,862	△ 12,820,707	△ 535,561,332	△ 9,008,513
(C) 信託報酬等	△ 15,075,367	△ 15,308,739	△ 15,587,521	△ 18,837,002	△ 15,135,601	△ 15,178,559
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	121,727,443	△ 618,722,481	2,129,847,539	671,486,789	△ 417,307,257	692,200,246
(E) 前期繰越損益金	△ 3,824,093,995	△ 3,723,285,664	△ 4,283,560,629	△ 2,179,157,289	△ 1,562,529,600	△ 2,025,316,259
(F) 追加信託差損益金	1,279,690,572	985,581,246	636,732,223	344,243,129	56,247,465	△ 239,717,041
(配当等相当額)	( 6,278,239,801)	( 6,008,748,378)	( 5,806,696,336)	( 5,617,951,590)	( 5,405,052,143)	( 5,248,632,044)
(売買損益相当額)	(△ 4,998,549,229)	(△ 5,023,167,132)	(△ 5,169,964,113)	(△ 5,273,708,461)	(△ 5,348,804,678)	(△ 5,488,349,085)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,422,675,980	△ 3,356,426,899	△ 1,516,980,867	△ 1,163,427,371	△ 1,923,589,392	△ 1,572,833,054
(H) 収益分配金	△ 330,195,041	△ 328,076,241	△ 329,775,553	△ 331,708,083	△ 332,130,269	△ 336,395,821
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,752,871,021	△ 3,684,503,140	△ 1,846,756,420	△ 1,495,135,454	△ 2,255,719,661	△ 1,909,228,875
追加信託差損益金	1,048,664,187	751,881,069	412,120,393	122,467,936	△ 169,449,415	△ 461,239,512
(配当等相当額)	( 6,047,213,416)	( 5,775,048,201)	( 5,582,084,506)	( 5,396,176,397)	( 5,179,355,263)	( 5,027,109,573)
(売買損益相当額)	(△ 4,998,549,229)	(△ 5,023,167,132)	(△ 5,169,964,113)	(△ 5,273,708,461)	(△ 5,348,804,678)	(△ 5,488,349,085)
繰越損益金	△ 3,801,535,208	△ 4,436,384,209	△ 2,258,876,813	△ 1,617,603,390	△ 2,086,270,246	△ 1,447,989,363

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
(a) 経費控除後の配当等収益	99,168,656円	94,376,064円	105,163,723円	109,932,890円	106,433,389円	114,873,350円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,278,239,801	6,008,748,378	5,806,696,336	5,617,951,590	5,405,052,143	5,248,632,044
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,377,408,457	6,103,124,442	5,911,860,059	5,727,884,480	5,511,485,532	5,363,505,394
(f) 分配金	330,195,041	328,076,241	329,775,553	331,708,083	332,130,269	336,395,821
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,047,213,416	5,775,048,201	5,582,084,506	5,396,176,397	5,179,355,263	5,027,109,573
(h) 受益権総口数	16,509,752,058口	16,403,812,060口	16,488,777,694口	16,585,404,171口	16,606,513,454口	16,819,791,065口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	200円	200円	200円	200円	200円	200円
（単 価）	(8, 333円)	(7, 754円)	(8, 880円)	(9, 099円)	(8, 642円)	(8, 865円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期末(2014年10月7日)	9,715	100	△ 5.4	11,876	△ 2.1	0.0	99.0	830
17期末(2014年11月7日)	9,863	100	2.6	12,278	3.4	0.0	98.8	928
18期末(2014年12月8日)	10,060	100	3.0	12,544	2.2	0.0	98.9	929
19期末(2015年1月7日)	8,948	100	△ 10.1	12,105	△ 3.5	0.0	98.4	843
20期末(2015年2月9日)	8,877	100	0.3	12,424	2.6	0.0	98.9	839
21期末(2015年3月9日)	8,569	100	△ 2.3	12,520	0.8	0.0	98.6	834
22期末(2015年4月7日)	8,336	100	△ 1.6	12,576	0.5	0.0	98.8	805
23期末(2015年5月7日)	8,566	100	4.0	12,573	△ 0.0	0.0	98.8	843
24期末(2015年6月8日)	8,505	100	0.5	12,650	0.6	0.0	98.9	819
25期末(2015年7月7日)	7,941	100	△ 5.5	12,505	△ 1.2	0.0	98.3	755
26期末(2015年8月7日)	7,415	100	△ 5.4	12,594	0.7	0.0	98.8	602
27期末(2015年9月7日)	6,063	100	△ 16.9	11,613	△ 7.8	0.0	98.0	473
28期末(2015年10月7日)	6,336	100	6.2	11,968	3.1	0.0	98.7	501
29期末(2015年11月9日)	6,677	100	7.0	12,689	6.0	0.0	98.9	531
30期末(2015年12月7日)	6,550	100	△ 0.4	12,643	△ 0.4	0.0	98.8	491
31期末(2016年1月7日)	5,665	100	△ 12.0	12,030	△ 4.8	0.0	98.9	438
32期末(2016年2月8日)	5,242	100	△ 5.7	11,364	△ 5.5	0.0	98.8	399
33期末(2016年3月7日)	5,475	100	6.4	12,089	6.4	0.0	99.0	407
34期末(2016年4月7日)	5,424	100	0.9	12,492	3.3	—	99.0	397
35期末(2016年5月9日)	5,078	100	△ 4.5	12,434	△ 0.5	0.0	98.3	358
36期末(2016年6月7日)	5,184	100	4.1	12,750	2.5	0.0	98.9	365
37期末(2016年7月7日)	4,739	100	△ 6.7	12,692	△ 0.5	0.0	99.3	320
38期末(2016年8月8日)	5,007	100	7.8	13,194	4.0	0.0	98.8	332
39期末(2016年9月7日)	4,957	100	1.0	13,216	0.2	0.0	98.9	290
40期末(2016年10月7日)	4,848	100	△ 0.2	13,061	△ 1.2	0.0	98.8	283
41期末(2016年11月7日)	4,487	100	△ 5.4	12,604	△ 3.5	0.0	98.6	243
42期末(2016年12月7日)	4,985	100	13.3	13,372	6.1	0.0	98.5	257
43期末(2017年1月10日)	5,216	100	6.6	13,714	2.6	0.0	97.9	296
44期末(2017年2月7日)	5,031	100	△ 1.6	13,857	1.0	0.0	98.2	282
45期末(2017年3月7日)	5,222	100	5.8	14,357	3.6	0.0	98.2	312

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

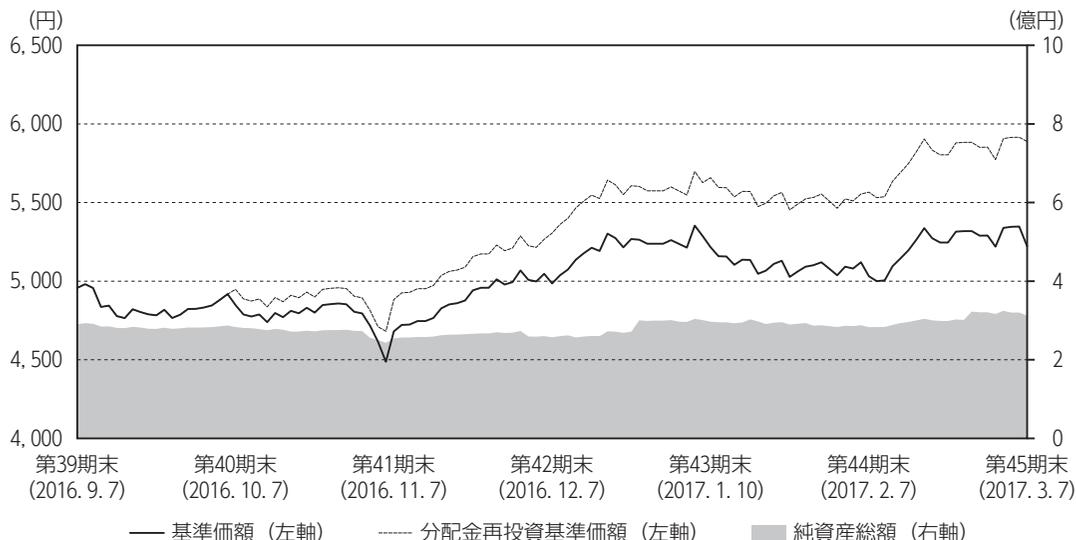
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第40期首：4,957円

第45期末：5,222円（既払分配金600円）

騰落率：18.8%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）（以下、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、株価が上昇したことや選定通貨が対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が寄与し、上昇しました。一方、オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第40期	(期首) 2016年 9月 7日	4,957	—	13,216	—	0.0	98.9
	9月末	4,824	△ 2.7	13,002	△ 1.6	0.0	99.2
	(期末) 2016年10月 7日	4,948	△ 0.2	13,061	△ 1.2	0.0	98.8
第41期	(期首) 2016年10月 7日	4,848	—	13,061	—	0.0	98.8
	10月末	4,805	△ 0.9	12,853	△ 1.6	0.0	98.2
	(期末) 2016年11月 7日	4,587	△ 5.4	12,604	△ 3.5	0.0	98.6
第42期	(期首) 2016年11月 7日	4,487	—	12,604	—	0.0	98.6
	11月末	4,994	11.3	13,326	5.7	0.0	99.4
	(期末) 2016年12月 7日	5,085	13.3	13,372	6.1	0.0	98.5
第43期	(期首) 2016年12月 7日	4,985	—	13,372	—	0.0	98.5
	12月末	5,237	5.1	13,596	1.7	—	98.7
	(期末) 2017年 1月10日	5,316	6.6	13,714	2.6	0.0	97.9
第44期	(期首) 2017年 1月10日	5,216	—	13,714	—	0.0	97.9
	1月末	5,079	△ 2.6	13,787	0.5	0.0	98.3
	(期末) 2017年 2月 7日	5,131	△ 1.6	13,857	1.0	0.0	98.2
第45期	(期首) 2017年 2月 7日	5,031	—	13,857	—	0.0	98.2
	2月末	5,290	5.1	14,324	3.4	0.0	98.4
	(期末) 2017年 3月 7日	5,322	5.8	14,357	3.6	0.0	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2016. 9. 8 ~ 2017. 3. 7)

### ■米国株式市況

S & P 500種株価指数は上昇しました。2016年10月下旬から11月初めにかけては、米国の大統領選挙や年内の利上げをめぐり先行き不透明感が強まったこと、また、大統領選挙では共和党のトランプ氏の当選が決まり政治経済の混乱が警戒されたことなどを受けて下落しました。11月上旬以降は、過度な警戒感が後退し、トランプ氏の政策に期待が集まるようになって、経済成長とインフレが加速するとの楽観的な見方が広がり上昇しました。2017年2月上旬から第45期末にかけては、米国政府による金融規制緩和に向けた動きを好感したほか、トランプ大統領が大幅な減税策を打ち出すことを示唆したことによる財政刺激策への期待が高まり、上昇しました。

### ■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。第40期首から2016年10月末にかけては、原油価格が堅調に推移し、資源国通貨への投資家心理が改善したことに加え、内外金利差の拡大を受けて円安圧力が強まったことから、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。11月以降も、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感から市場のリスク選好度が強まったことで、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。2017年1月以降は、トランプ大統領の政策動向や英国によるEU（欧州連合）からの強硬離脱懸念などに左右されつつ、選定通貨は一進一退の動きとなりました。ただし、トルコ・リラは政治的不透明感がくすぶったことなどから、対円で軟調な推移となりました。当作成期間においては、ブラジル・リアル、チリ・ペソ、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、コロンビア・ペソ、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、中国元、メキシコ・ペソは対円の上昇しました。一方で、トルコ・リラは対円で下落しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当作成期間においては、ブラジル・リアル、チリ・ペソ、インドネシア・ルピア、インド・ルピー、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソ、トルコ・リラ、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、中国元を選定通貨に組み入れました。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では2016年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50%から0.50～0.75%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (GICS) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2016.9.8 ~ 2017.3.7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期間を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

## ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

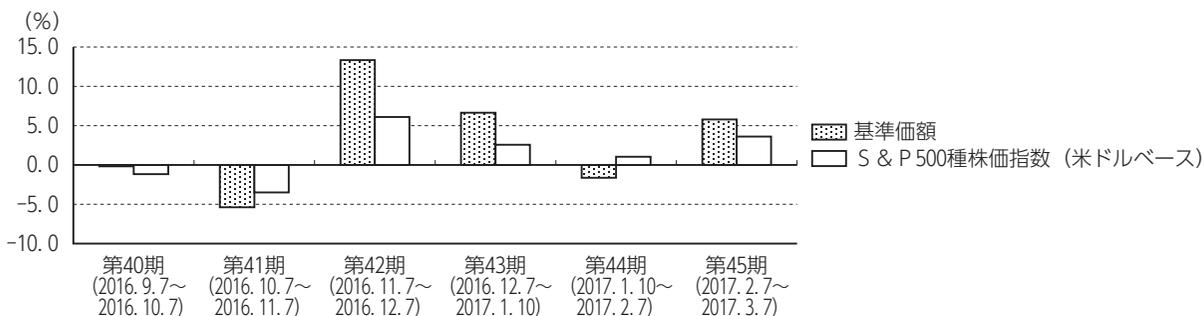
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

第40期から第45期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
	2016年9月8日 ～2016年10月7日	2016年10月8日 ～2016年11月7日	2016年11月8日 ～2016年12月7日	2016年12月8日 ～2017年1月10日	2017年1月11日 ～2017年2月7日	2017年2月8日 ～2017年3月7日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（％）	2.02	2.18	1.97	1.88	1.95	1.88
当期の収益（円）	59	65	62	57	72	63
当期の収益以外（円）	40	34	37	42	27	36
翌期繰越分配対象額（円）	1,104	1,070	1,033	997	969	937

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
(a) 経費控除後の配当等収益	59.32円	65.19円	62.82円	57.83円	72.15円	63.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	908.86	911.67	912.45	935.65	938.38	945.69
(d) 分配準備積立金	236.60	193.39	157.88	104.26	59.43	28.96
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,204.79	1,170.26	1,133.16	1,097.75	1,069.97	1,037.80
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,104.79	1,070.26	1,033.16	997.75	969.97	937.80

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

投資対象銘柄をS & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とし、「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第40期～第45期 (2016.9.8～2017.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0.654%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,010円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	33	0.658	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

決算期	第40期～第45期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 1,745.302	千円 86,073	千口 1,920.875	千円 91,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

銘柄	第40期～第45期			平均単価	銘柄	第45期				
	買付		□数			売付		□数	金額	平均単価
	□数	金額				□数	金額			
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,257.892	千円 63,000	円 50	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,920.875	千円 91,000	円 47			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第40期～第45期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第40期～第45期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年9月8日から2017年3月7日まで)

区分	第40期～第45期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 169,324	百万円 50,861	% 30.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	6,937,587	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	75,999	—	—	74,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 45 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	5,991.534	306,742	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月7日現在

項 目	第 45 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	306,742	94.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	17,705	5.5
投資信託財産総額	324,548	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第39期末	第 45 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	100

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年10月7日)、(2016年11月7日)、(2016年12月7日)、(2017年1月10日)、(2017年2月7日)、(2017年3月7日) 現在

項 目	第40期末	第41期末	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末
<b>(A) 資産</b>	<b>289,418,733円</b>	<b>261,967,012円</b>	<b>263,476,375円</b>	<b>302,918,535円</b>	<b>288,923,263円</b>	<b>324,548,458円</b>
コール・ローン等	9,365,781	22,171,164	10,115,667	12,115,343	10,937,349	17,705,815
投資信託受益証券 (評価額)	279,952,864	239,695,760	253,260,630	290,703,114	277,885,846	306,742,575
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	100,088	100,088	100,078	100,078	100,068	100,068
<b>(B) 負債</b>	<b>6,162,747</b>	<b>18,769,992</b>	<b>6,441,436</b>	<b>6,094,085</b>	<b>5,929,402</b>	<b>12,216,900</b>
未払収益分配金	5,842,790	5,420,082	5,156,366	5,690,386	5,624,487	5,981,038
未払解約金	9,831	13,039,793	994,600	46,076	—	5,915,021
未払信託報酬	308,257	306,387	285,010	350,040	295,538	309,579
その他未払費用	1,869	3,730	5,460	7,583	9,377	11,262
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>283,255,986</b>	<b>243,197,020</b>	<b>257,034,939</b>	<b>296,824,450</b>	<b>282,993,861</b>	<b>312,331,558</b>
元本	584,279,000	542,008,279	515,636,633	569,038,609	562,448,729	598,103,899
次期繰越損益金	△ 301,023,014	△ 298,811,259	△ 258,601,694	△ 272,214,159	△ 279,454,868	△ 285,772,341
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>584,279,000口</b>	<b>542,008,279口</b>	<b>515,636,633口</b>	<b>569,038,609口</b>	<b>562,448,729口</b>	<b>598,103,899口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	4,848円	4,487円	4,985円	5,216円	5,031円	5,222円

\* 第39期末における元本額は585,845,405円、当作成期間 (第40期~第45期) 中における追加設定元本額は169,692,314円、同解約元本額は157,433,820円です。

\* 第45期末の計算口数当りの純資産額は5,222円です。

\* 第45期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は285,772,341円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■損益の状況

項目	第40期 自 2016年9月8日 至 2016年10月7日 第41期 自 2016年10月8日 至 2016年11月7日	第41期 自 2016年11月8日 至 2016年12月7日 第42期 自 2016年12月8日 至 2017年1月10日	第42期 自 2016年11月8日 至 2016年12月7日 第43期 自 2016年12月8日 至 2017年1月10日	第43期 自 2017年1月11日 至 2017年2月7日 第44期 自 2017年2月8日 至 2017年3月7日	第44期 自 2017年1月11日 至 2017年2月7日 第45期 自 2017年2月8日 至 2017年3月7日	第45期 自 2017年2月8日 至 2017年3月7日
(A) 配当等収益	3,776,261円	3,842,023円	3,269,758円	3,359,919円	4,355,575円	3,850,109円
受取配当金	3,776,418	3,842,243	3,269,954	3,360,438	4,355,909	3,850,375
受取利息	—	1	—	1	2	—
支払利息	△ 157	△ 221	△ 196	△ 520	△ 336	△ 266
(B) 有価証券売買損益	△ 3,951,327	△ 17,670,129	△ 27,810,009	△ 13,813,482	△ 8,630,706	△ 12,615,092
売買益	136,032	466,241	29,124,590	14,043,052	559,516	12,917,165
売買損	△ 4,087,359	△ 18,136,370	△ 1,314,581	△ 229,570	△ 9,190,222	△ 302,073
(C) 信託報酬等	△ 310,126	△ 308,248	△ 286,740	△ 352,163	△ 297,332	△ 311,464
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	△ 485,192	△ 14,136,354	△ 30,793,027	△ 16,821,238	△ 4,572,463	△ 16,153,737
(E) 前期繰越損益金	△ 224,410,940	△ 211,275,242	△ 218,615,162	△ 183,951,491	△ 163,495,424	△ 169,331,717
(F) 追加信託差損益金	△ 70,284,092	△ 67,979,581	△ 65,623,193	△ 99,393,520	△ 105,762,494	△ 126,613,323
(配当等相当額)	( 53,103,021)	( 49,413,590)	( 47,049,333)	( 53,242,587)	( 52,779,348)	( 56,562,096)
(売買損益相当額)	(△ 123,387,113)	(△ 117,393,171)	(△ 112,672,526)	(△ 152,636,107)	(△ 158,541,842)	(△ 183,175,419)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 295,180,224	△ 293,391,177	△ 253,445,328	△ 266,523,773	△ 273,830,381	△ 279,791,303
(H) 収益分配金	△ 5,842,790	△ 5,420,082	△ 5,156,366	△ 5,690,386	△ 5,624,487	△ 5,981,038
次期繰越損益金 (G + H)	△ 301,023,014	△ 298,811,259	△ 258,601,694	△ 272,214,159	△ 279,454,868	△ 285,772,341
追加信託差損益金	△ 70,284,092	△ 67,979,581	△ 65,623,193	△ 99,393,520	△ 105,762,494	△ 127,084,920
(配当等相当額)	( 53,103,021)	( 49,413,590)	( 47,049,333)	( 53,242,587)	( 52,779,348)	( 56,090,499)
(売買損益相当額)	(△ 123,387,113)	(△ 117,393,171)	(△ 112,672,526)	(△ 152,636,107)	(△ 158,541,842)	(△ 183,175,419)
分配準備積立金	11,447,861	8,595,885	6,224,182	3,533,680	1,776,761	—
繰越損益金	△ 242,186,783	△ 239,427,563	△ 199,202,683	△ 176,354,319	△ 175,469,135	△ 158,687,421

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項目	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,466,133円	3,533,775円	3,239,591円	3,291,034円	4,058,242円	3,777,287円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	53,103,021	49,413,590	47,049,333	53,242,587	52,779,348	56,562,096
(d) 分配準備積立金	13,824,518	10,482,192	8,140,957	5,933,032	3,343,006	1,732,154
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	70,393,672	63,429,557	58,429,881	62,466,653	60,180,596	62,071,537
(f) 分配金	5,842,790	5,420,082	5,156,366	5,690,386	5,624,487	5,981,038
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	64,550,882	58,009,475	53,273,515	56,776,267	54,556,109	56,090,499
(h) 受益権総口数	584,279,000口	542,008,279口	515,636,633口	569,038,609口	562,448,729口	598,103,899口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
(単 価)	(4, 848円)	(4, 487円)	(4, 985円)	(5, 216円)	(5, 031円)	(5, 222円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税 (配当控除の適用はありません。) を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド  
 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／  
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2017年3月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表  
 2016年2月29日

<b>資産</b>	
投資資産、公正価値（取得原価139,134,105,321円）	¥ 141,040,857,819
現金および現金等価物	262,356,622
スワップ契約による評価益	516,532
スワップ契約終了による未収金	4,631,679,108
その他資産	1,345,512
<b>資産合計</b>	<u>145,936,755,593</u>
<b>負債</b>	
スワップ契約による評価損	1,297,502,204
未払：	
購入済みの投資資産	175,569,185
管理会社報酬	13,981,599
投資運用会社報酬	12,386,445
専門家報酬	9,325,585
設立費用	6,496,199
名義書き換え代理報酬	2,675,884
受託会社報酬	201,774
通貨投資アドバイザー報酬	162,677
<b>負債合計</b>	<u>1,518,301,552</u>
<b>純資産</b>	<u>¥ 144,418,454,041</u>
豪ドル・クラス	¥ 8,216,726,857
ブラジル・レアル・クラス	119,290,697,276
日本円・クラス	1,783,598,434
通貨セレクト・クラス	395,680,607
米ドル・クラス	14,731,750,867
	<u>¥ 144,418,454,041</u>

# ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－

## 発行済み受益証券数

豪ドル・クラス	94,495,778
ブラジル・リアル・クラス	2,470,166,397
日本円・クラス	21,377,935
通貨セレクト・クラス	8,462,491
米ドル・クラス	116,239,124

## 1口当りの純資産

豪ドル・クラス	¥	86.95
ブラジル・リアル・クラス	¥	48.29
日本円・クラス	¥	83.43
通貨セレクト・クラス	¥	46.76
米ドル・クラス	¥	126.74

## 損益計算書

2016年2月29日に終了した年度

### 投資収益

その他収益	¥	365,357
<b>投資収益合計</b>		<b>365,357</b>

### 費用

投資運用会社報酬	239,046,295
管理会社報酬	112,154,484
名義書き換え代理報酬	24,199,661
専門家報酬	10,118,760
受託会社報酬	1,701,059
通貨投資アドバイザー報酬	927,589
登録費用	329,674
その他費用	3,518,028
<b>費用合計</b>	<b>391,995,550</b>

<b>純投資損失</b>	<b>(391,630,193)</b>
--------------	----------------------

### 実現益（実現損）と評価益（評価損）：

#### 実現損の内訳：

有価証券への投資	(38,170,676,519)
スワップ契約	(51,526,230,558)
外国為替取引および為替先渡契約	(735,519,661)
<b>純実現損</b>	<b>(90,432,426,738)</b>

#### 評価益（評価損）の純変動の内訳：

有価証券への投資	(1,223,710,336)
スワップ契約	(2,255,280,049)
外国為替換算および為替先渡契約	3,610,203
<b>評価損の純変動</b>	<b>(3,475,380,182)</b>

<b>純実現・評価損</b>	<b>(93,907,806,920)</b>
----------------	-------------------------

<b>業務活動の結果生じた純資産の純減</b>	<b>¥ (94,299,437,113)</b>
-------------------------	---------------------------

(日本円建て)

投資明細表  
2016年2月29日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に 占める割合 (%)	公正価値
CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ	14, 510, 314	97.66%	¥ 141, 040, 857, 819
ストラクチャード商品計 (取得原価 139, 134, 105, 321円)			141, 040, 857, 819
投資資産計 (取得原価 139, 134, 105, 321円)		97.66%	¥ 141, 040, 857, 819

\*当ファンドは Deutsche Bank A. G., London Branch に十分な資金規模を持つパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index に概念的なエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
A U D	Deutsche Bank A. G.	101, 770, 142	2016年3月31日	U S D	(73, 189, 075)	¥ (20, 042, 384)	(0.01%)

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
B R L	Deutsche Bank A. G.	4, 234, 885, 680	2016年3月31日	U S D	(1, 066, 948, 503)	¥ (1, 273, 748, 301)	(0.88%)

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
J P Y	Deutsche Bank A. G.	1, 790, 419, 694	2016年3月31日	U S D	(15, 894, 258)	¥ (2, 200, 019)	(0.00%)

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	カウンターパーティー	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合 (%)
B R L	Deutsche Bank A. G.	2, 525, 393	2016年3月31日	U S D	(633, 974)	¥ (502, 279)	(0.00%)
I N R	Deutsche Bank A. G.	44, 164, 299	2016年3月31日	U S D	(637, 477)	429, 419	0.00%
T R Y	Deutsche Bank A. G.	1, 872, 837	2016年3月31日	U S D	(633, 973)	(651, 535)	(0.00%)
C N Y	Deutsche Bank A. G.	3, 234, 332	2016年3月31日	U S D	(493, 869)	(124, 880)	(0.00%)
I D R	Deutsche Bank A. G.	8, 108, 124, 001	2016年3月31日	U S D	(602, 450)	87, 113	0.00%
C L P	Deutsche Bank A. G.	347, 598, 719	2016年3月31日	U S D	(500, 875)	(232, 806)	(0.00%)
合計						¥ (994, 968)	(0.00%)

用語集:

A U D	豪ドル
B R L	ブラジル・リアル
I N R	インド・ルピー
J P Y	日本円
C L P	チリ・ペソ
C N Y	中国元
T R Y	トルコ・リラ
U S D	米ドル
I D R	インドネシア・ルピア

## ダイワ・マネー・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2017年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を65～66ページに併せて掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

#### 公 社 債

（2016年9月8日から2017年3月7日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	27,570,641		
642 国庫短期証券 2017/2/6	17,230,250		
629 国庫短期証券 2016/11/28	14,720,456		
632 国庫短期証券 2016/12/12	14,020,490		
638 国庫短期証券 2017/1/16	9,360,075		
619 国庫短期証券 2016/10/11	7,630,154		
648 国庫短期証券 2017/3/6	7,370,272		
649 国庫短期証券 2017/3/13	7,230,340		
623 国庫短期証券 2016/10/31	7,170,200		
620 国庫短期証券 2016/10/17	6,720,235		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

下記は、2017年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（72,735,176千円）の内容です。

#### (1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2017年3月7日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 以 下 組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 14,120,000	千円 14,120,294	% 19.0	% —	% —	% —	% 19.0

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注3）評価額および格付情報については金融取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

#### (2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年3月7日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	631 国庫短期証券	—	千円 2,740,000	千円 2,740,022	2017/03/10	
	649 国庫短期証券	—	7,230,000	7,230,114	2017/03/13	
	651 国庫短期証券	—	4,150,000	4,150,158	2017/03/21	
合 計	銘 柄 数	3銘柄				
	金 額		14,120,000	14,120,294		

（注）単位未満は切捨て。

(3) 国内その他有価証券

	2017年3月7日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.3>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第12期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第12期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A - 2 格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

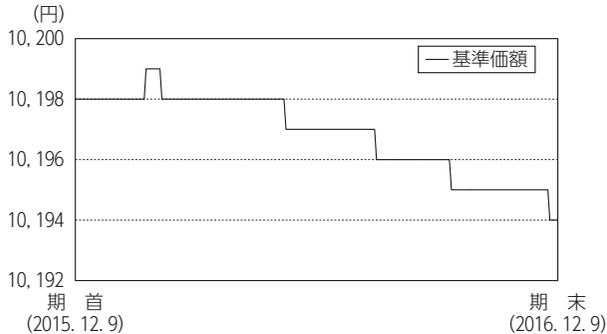
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2015年12月9日	10,198	—	55.2
12月末	10,198	0.0	52.1
2016年1月末	10,198	0.0	94.1
2月末	10,198	0.0	50.0
3月末	10,198	0.0	—
4月末	10,198	0.0	3.3
5月末	10,197	△ 0.0	0.1
6月末	10,197	△ 0.0	1.6
7月末	10,196	△ 0.0	19.1
8月末	10,196	△ 0.0	44.5
9月末	10,195	△ 0.0	25.5
10月末	10,195	△ 0.0	3.4
11月末	10,195	△ 0.0	26.7
(期末) 2016年12月9日	10,194	△ 0.0	30.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,198円 期末：10,194円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 ( 0)
合計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■売買および取引の状況

### (1) 公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
国	債	285,828,471	11,349,138
			( 297,450,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

### (2) その他有価証券

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
国	内	17,999,984	16,999,986

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379	567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,980
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973	566 国庫短期証券 2016/2/1	2,999,991
611 国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,779
601 国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,253,387
629 国庫短期証券 2016/11/28	14,720,456		
596 国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312		
632 国庫短期証券 2016/12/12	14,020,490		
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147		
609 国庫短期証券 2016/8/22	10,870,238		
610 国庫短期証券 2016/8/29	10,390,257		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### (1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当 期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
区 分					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	20,580,000	20,580,364	30.1	—	—	—	30.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

### (2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末	
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	632 国庫短期証券	—	14,020,000	14,020,113	2016/12/12	
	634 国庫短期証券	—	2,010,000	2,010,039	2016/12/19	
	635 国庫短期証券	—	4,550,000	4,550,211	2016/12/26	
合計	銘柄数	3銘柄				
	金額		20,580,000	20,580,364		

(注) 単位未満は切捨て。

### (3) 国内その他有価証券

	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	20,580,364	27.2
その他有価証券	999,999	1.3
コール・ローン等、その他	53,984,185	71.4
投資信託財産総額	75,564,549	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>75,564,549,239円</b>
コール・ローン等	53,983,440,401
公社債（評価額）	20,580,364,994
現先取引（その他有価証券）	999,999,178
その他未収収益	744,666
<b>(B) 負債</b>	<b>7,294,738,200</b>
未払金	1,800,034,200
未払解約金	5,494,704,000
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>68,269,811,039</b>
元本	66,967,614,984
次期繰越損益金	1,302,196,055
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>66,967,614,984口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	10,194円

\* 期首における元本額は77,361,886,547円、当期中における追加設定元本額は229,319,669,570円、同解約元本額は239,713,941,133円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジあり）98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジなし）98,069円、ダイワ/“RICI”<sup>®</sup> コモディティ・ファンド8,952,508円、U S 債券 N B 戦略ファンド（為替ヘッジあり/年1回決算型）740,564円、U S 債券 N B 戦略ファンド（為替ヘッジなし/年1回決算型）1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード1,987,559円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンダー・はじめの一歩-129,891,397円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,529,071,704円、ダイワファンダラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-29,484,934円、(適格機関投資家専用) スマート・シックス・Dガード495,850,899円、ブルベア・マネー・ポートフォリオ IV 21,858,178,543円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 34,413,293,504円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 6,512,563,667円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド（ダイワ S M A 専用）4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）13,761,552円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド4,974,315円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ197,896,688円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスII-金積立型-501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド（償還条項付き）為替ヘッジあり1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド（Dガード付/部分為替ヘッジあり）27,494,856円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-（為替ヘッジあり）988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-（為替ヘッジなし）4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）日本円コース3,874,449円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,724,477円、D C スマート・アロケーション・Dガード95,147

円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド（ダイワ S M A 専用）274,626円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,194円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 17,198,883円</b>
受取利息	△ 3,050,070
その他収益金	744,666
支払利息	△ 14,893,479
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 1,077,368</b>
売買益	242,421
売買損	△ 1,319,789
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 139,970</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 18,416,221</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,530,291,621</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 4,723,800,173</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>4,514,120,828</b>
<b>(H) 合計（D+E+F+G）</b>	<b>1,302,196,055</b>
次期繰越損益金（H）	1,302,196,055

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。